

第 18 号議案

令和 7 年度滋賀県立高等学校入学者選抜要項の一部修正について

令和 7 年度滋賀県立高等学校入学者選抜要項を次のとおり一部修正する。

令和 6 年 8 月 26 日

滋賀県教育委員会

別紙のとおり

令和7年度滋賀県立高等学校入学者選抜要項の一部修正について

修正前	修正後
要項2ページ 第1 一般選抜 4 出願手続(1)提出書類 ケ 自己申告書 それぞれの学年において年 間30日以上欠席した志願者のうち希望する 者は、その理由等を記した自己申告書を提出 することができる。	要項2ページ 第1 一般選抜 4 出願手続(1)提出書類 ケ 自己申告書 それぞれの学年において年 間30日以上欠席した志願者のうち希望する 者は、その理由等を記した自己申告書を提出 することができる。
要項6ページ 第2 推薦選抜 5 出願手続(1)提出書類 カ 自己申告書 「第1 一般選抜」4(1)ケ に同じ。	要項6ページ 第2 推薦選抜 5 出願手続(1)提出書類 カ 自己申告書 「第1 一般選抜」4(1)ケ に同じ。
要項8ページ 第3 特色選抜 5 出願手続(1)提出書類 キ 自己申告書 「第1 一般選抜」4(1)ケ に同じ。	要項8ページ 第3 特色選抜 5 出願手続(1)提出書類 キ 自己申告書 「第1 一般選抜」4(1)ケ に同じ。
要項10ページ 第4 スポーツ・文化芸術推薦選抜 5 出願手 続(1)提出書類 カ 自己申告書 「第1 一般選抜」4(1)ケ に同じ。 キ 上記に定めるもののほか、出願先高等学 校長が求める書類	要項10ページ 第4 スポーツ・文化芸術推薦選抜 5 出願手 続(1)提出書類 カ 自己申告書 「第1 一般選抜」4(1)ケ に同じ。 カ 上記に定めるもののほか、出願先高等学 校長が求める書類
要項14ページ 〔通信制の課程〕5 出願手続(1)提出書類 キ 自己申告書 〔全日制の課程および定時 制の課程〕第1の4(1)ケに同じ。	要項14ページ 〔通信制の課程〕5 出願手続(1)提出書類 キ 自己申告書 〔全日制の課程および定時 制の課程〕第1の4(1)ケに同じ。

令和 7 年 度（2025年度）

滋賀県立高等学校入学者選抜要項

滋 賀 県 教 育 委 員 会

令和7年度県立高等学校入学者選抜の主な日程

月	特別出願許可申請期間 (注1)	全日制・定時制		通信制	単位制転編入学 (大津清陵・昼間)
		推薦選抜、特色選抜 スポーツ・文化芸術推薦選抜	一般選抜		
1	来庁受付 17(金)	29(水) ↓ 30(木) (16:40) 出願			
2	全日制定時制 20(木) ↑ 21(金) ↓ 26(水) (12:00) 出願変更再申請	5(水) 6(木) 推薦選抜 特色選抜 スポーツ・文化 芸術推薦選抜 12(水) 推薦選抜 スポーツ・文化 芸術推薦選抜 追検査 13(木) 入学許可 予定者通知	19(水) ↓ 20(木) (16:40)※ ↓ 26(水) ↓ 28(金) (15:00) 出願 出願変更		
3	転入学 編入学 7(金) ↓ 通信制 12(水) (12:00) ↓ 13(木) 全日制定時制 二次選抜 14(金) (12:00) ↑ 17(月) ↑ 18(火) (12:00) ↓ 21(金) (12:00) 転編入 二次選抜 通信制 二次選抜	12(水) 入学許可 予定者発表	5(水) 学力検査 6(木) [実技検査] ↓ 10(月) 追検査 ↓ 12(水) 入学許可 予定者発表 13(木) 二次選抜 出願 14(金) (16:40)※ ↓ 18(火) 二次選抜 検査 ↓ 21(金) 二次選抜 発表	9(日) ↑ 12(水) (16:00) ↓ 17(月) 入学許可 予定者発表 ↓ 19(水) ↑ 21(金) (16:00) ↓ 25(火) 二次選抜 発表	7(金) ↑ 10(月) (16:00) ↓ 13(木) 学力検査 ↓ 17(月) 入学許可 予定者発表 ↓ 17(月) ↑ 18(火) (16:00) ↓ 21(金) 二次選抜 検査 ↓ 25(火) 二次選抜 発表

(注1) 感染症等の状況によっては、郵送による申請を認めることがあります。その場合、別途ホームページにてお知らせします。

(注2) ※印のついている時刻は、定時制の課程(夜間)では17:00となります。

目 次

令和7年度滋賀県立高等学校入学者選抜要項	1
全日制の課程および定時制の課程	1
第1 一般選抜	1
第2 推薦選抜	6
第3 特色選抜	8
第4 スポーツ・文化芸術推薦選抜	10
第5 中高一貫教育に係る併設型高等学校の特例	13
通信制の課程（単位制）	14
転入学・編入学（単位制による定時制の課程（昼間）の場合）	15
〔別表1〕高等学校別入学者選抜一覧表	17
〔別表2〕高等学校別推薦選抜の概要一覧表	20
〔別表3〕高等学校別特色選抜の概要一覧表	25
〔別表4〕高等学校別スポーツ・文化芸術推薦選抜の概要一覧表	27

令和7年度滋賀県立高等学校入学者選抜要項

令和7年度における滋賀県立高等学校（以下「県立高等学校」という。）の全日制の課程、定時制の課程および通信制の課程の入学者の選抜は、この要項に定めるところにより実施する。

【全日制の課程および定時制の課程】

選抜は、「一般選抜」、「推薦選抜」、「特色選抜」および「スポーツ・文化芸術推薦選抜」により行うものとする。

推薦選抜、特色選抜については、学校または学科によっていずれかを行うものとする。ただし、定時制の課程にあっては、一般選抜のみとすることができる。また、スポーツ・文化芸術推薦選抜については、スポーツ強化拠点校または文化芸術推進強化校の指定を受けた学校が行うことができるものとする。

第1 一般選抜

1 募集定員

募集定員は、別に定める。

2 出願資格

次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 令和7年3月に中学校、義務教育学校もしくはこれに準ずる学校または中等教育学校の前期課程（以下「中学校等」という。）を卒業し、または修了する見込みの者
- (2) 中学校等を卒業し、または修了した者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条各号のいずれかに該当する者

3 出願

- (1) 入学志願者（以下「志願者」という。）は、県立学校の管理運営等に関する規則第11条第2項の規定に基づき、その保護者等（親権者または未成年後見人をいう。）が県内に居住するときは、その志願する県立高等学校へ出願することができる。なお、その保護者等が県外に居住するときは、県立学校の管理運営等に関する規則第11条の3の規定に基づく許可を受けた者に限って、出願することができる。
- (2) 出願は、1人1校、1課程、1学科または1科限りとする。ただし、出願しようとする県立高等学校（以下「出願先高等学校」という。）の同一の課程に2以上の学科または科が置かれる場合にあっては、これを第2志望または第3志望とすることができる。
- (3) 次に掲げる県立高等学校への出願にあっては、(2)の規定によらず、当該県立高等学校に設置する二つの学科を区別せずに出願（以下「学校出願」という。）するものとし、二つの学科の両方またはいずれかを志望することができる。

膳所高等学校、米原高等学校、草津東高等学校、栗東高等学校、高島高等学校および守山北高等学校

4 出願手続

- (1) 提出書類 志願者は、次の書類を、在学している中学校等または卒業し、もしくは修了した中学校等の校長（以下「中学校長」という。）を経て、出願先県立高等学校の校長（以下「出願先高等学校長」という。）に提出しなければならない。ただし、2(3)に該当する志願者にあっては、出願先高等学校長に申し出て、その指示に従わなければならない。
 - ア 入学願書
 - イ 学校出願入学願書 学校出願をする志願者にあっては、アに代えて学校出願入学願書によるものとする。
 - ウ 受検票 令和7年3月に滋賀県内の中学校等を卒業する見込みの者以外の者は、出願前3箇月以内に撮影した無帽、正面上半身の写真（縦4cm、横3cm）を受検票の所定の欄に貼り、中学校長の割印を受けなければならない。ただし、2(3)に該当する者については、割印は不要とする。
 - エ 住民票記載事項証明書またはその写し 2(2)および(3)に該当する者ならびに2(1)に該当する者のうち3(1)に照らして中学校長または出願先高等学校長が必要と認めた者は、本人および保護者等の住民票記載事項証明書またはその写しを提出しなければならない。
 - オ 滋賀県立高等学校特別出願に係る許可書（以下「特別出願許可書」という。）の写し
 - (ア) 県立学校の管理運営等に関する規則第11条の3の規定に基づく特別事情による志願者は、滋賀県教育委員会教育長（以下「県教育長」という。）の許可を受け、特別出願許可書の写しを添付しなければならない。
 - (イ) 特別出願許可申請期間 令和7年1月17日(金)から令和7年2月19日(水)まで（土曜日、日曜日および祝日を除く。）とする。受付は、午前9時から午後5時までとする。
 - カ 雇用（予定）証明書 県内に勤務地を有し、または有する見込みの者のうち県外からの志願者は、雇用（予定）証明書を添付しなければならない。

- キ 海外帰国生徒等取扱措置願 15(3)に定める海外帰国生徒等に該当する者のうち、海外帰国生徒等取扱措置願を提出した者については、15(4)に定める受検に当たっての特別な配慮を受けることができる。
- ク 定時制課程特例措置申請書 定時制の課程（滋賀県立大津清陵高等学校および滋賀県立能登川高等学校の定時制の課程を除く。）においては、満 21 歳以上（令和 7 年 4 月 1 日現在）の志願者で希望するものについては、定時制課程特例措置申請書を提出することにより、学力検査に代えて面接および作文で受検することができる。
- (2) 入学考査手数料（以下「手数料」という。）
- ア 志願者は、出願に当たって、全日制の課程にあっては 2,200 円、定時制の課程にあっては 950 円の手数料に相当する額面の滋賀県収入証紙（以下「証紙」という。）を入学願書の証紙貼付欄に貼り付けなければならない。
- イ 既納の手数料は、原則として還付しない。
- (3) 中学校長は、志願者が当該県立高等学校を志願していることを確認し、提出された書類の内容を審査のうえ、次の書類を作成し、志願者から提出された書類とともに出願先高等学校長に提出するものとする。
- ア 個人調査報告書 評価は、中学校生徒指導要録に基づく評価を用いるものとする。
- イ 成績一覧表 令和 7 年 3 月に中学校等を卒業し、または修了する見込みの者について作成するものとする。ただし、推薦選抜、特色選抜またはスポーツ・文化芸術推薦選抜に出願があった県立高等学校へは不要とする。なお、県教育長宛てにも 1 部提出するものとする。
- ウ 出願者一覧表（2 通）
- (4) 出願期間等
- ア 期間 令和 7 年 2 月 19 日(水)および令和 7 年 2 月 20 日(木)とする。
- イ 受付時間 午前 8 時 40 分から午後 4 時 40 分までとする。ただし、定時制の課程（夜間）にあっては、令和 7 年 2 月 19 日(水)は午後 1 時 20 分から午後 8 時まで、令和 7 年 2 月 20 日(木)は午後 1 時 20 分から午後 5 時までとする。
- 郵送の場合は、令和 7 年 2 月 19 日(水)の消印のあるものに限り受け付ける。この場合において、中学校長は、郵送した時点で、出願者数等について、出願先高等学校長宛て電話で報告するものとする。
- (5) 出願先高等学校長は、中学校長から提出された書類および手数料（入学願書に貼付の証紙）を確認のうえ、出願者一覧表 1 通を受検番号を付した受検票とともに中学校長に交付するものとする。
- (6) 中学校長は、受検票を志願者に交付するものとする。

5 出願変更

- (1) 志願者は、4 に基づく出願後、1 人 1 回に限り、志望する学校、課程、学科または科を変更することができる。
- (2) 特別出願許可書を交付された志願者が出願先高等学校、課程、学科を変更する場合には、改めて特別出願許可が必要となることがある。特別出願許可書の再申請期間は、令和 7 年 2 月 21 日(金)から令和 7 年 2 月 26 日(水)まで（土曜日、日曜日および祝日を除く。）とする。受付は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、最終日の受付は、正午までとする。
- (3) 出願変更にあたっての学校、課程、学科または科の選定は、3 に同じとする。
- (4) 第 2 志望または第 3 志望の学科または科を変更する場合も、(1)、(2)および(3)と同様とする。
- (5) 3 (3)に該当する志願者が、志望する学科を変更する場合も、(1)、(2)および(3)と同様とする。

6 出願変更手続

- (1) 志望する学校、課程、学科または科の変更をしようとする志願者は、出願先変更願を中学校長を経て出願先高等学校長に提出しなければならない。ただし、2 (3)に該当する志願者は、出願先高等学校長に申し出て、その指示に従わなければならない。
- (2) (1)に規定する者は、新たに入学願書（ただし、3 (3)に該当する志願者は、学校出願入学願書）および受検票を作成し（ただし、5 (4)(5)に該当する志願者は、受検票の作成は不要）、(7)で返却を受けた書類とともに、中学校長を経て、変更して出願しようとする県立高等学校の校長（以下「変更先高等学校長」という。）に提出しなければならない。なお、郵送による手続はできないものとする。
- (3) 手数料 (1)に規定する者は、出願変更にあたって、手数料に不足のある場合は、当該不足額に相当する額面の証紙を変更先高等学校長へ提出する入学願書の証紙貼付欄に貼り付けなければならない。
- 既納の手数料は、原則として還付しない。
- (4) 中学校長は、志願者が出願先の変更を希望していることを確認し、提出された書類の内容を審査するものとする。
- (5) 中学校長は、出願先変更者一覧表 2 通を作成し、出願先変更願とともに出願先高等学校長に提出するものとする。
- (6) 中学校長は、変更出願者一覧表 2 通を作成し、(2)の書類とともに変更先高等学校長に提出するものとする。
- (7) 出願先高等学校長は、中学校長から提出された書類を確認のうえ、中学校長に出願時に提出された書類（入学願書を除く。）を返却するとともに出願先変更者一覧表 1 通および受検票に出願済み証明の押印をし、交付するものとする。

(8) 変更先高等学校長は、中学校長から提出された書類および手数料を確認のうえ、変更出願者一覧表1通を受検番号を付した受検票とともに中学校長に交付するものとする。

(9) 出願変更の期間等

ア 期間 令和7年2月26日(水)から令和7年2月28日(金)までとする。

イ 受付時間 午前8時40分から午後4時40分までとし、最終日は午後3時までとする。ただし、定時制の課程(夜間)にあつては、午後1時20分から午後8時までとし、最終日は午後1時20分から午後3時までとする。

7 学力検査等

(1) 選抜のための学力検査は、出願者全員に対して行う。ただし、定時制の課程(滋賀県立大津清陵高等学校および滋賀県立能登川高等学校の定時制の課程を除く。)においては、満21歳以上(令和7年4月1日現在)の志願者で希望する者については、学力検査を行わず、面接および作文をもってこれに代えることができる。

(2) 学力検査実施教科等

ア 学力検査実施教科は、各県立高等学校とも国語、数学、社会、理科および英語の5教科を原則とする(実施教科については、別表1「高等学校別入学者選抜一覧表」を参照すること。)

イ 面接、作文または実技検査のいずれかを課す場合は、5教科の学力検査終了後またはその翌日に実施する。ただし、5教科のうち1教科を減じる場合は、当該教科の検査時間に実施することができるものとする。実施方法については、各県立高等学校ごとに定める実施要項によるものとする(別表1「高等学校別入学者選抜一覧表」を参照すること。)

ウ 各教科等の配点については、各県立高等学校ごとに定める実施要項によるものとする(別表1「高等学校別入学者選抜一覧表」を参照すること。)

(3) 教科、期日および時間は、次のとおりとする。

期日	時限	1		2		3		4		5		6
令和7年 3月5日(水)	時間	9:00 ～ 9:10	休 憩	9:25 ～ 10:15	休 憩	10:35 ～ 11:25	休 憩	11:45 ～ 12:35	昼 食	13:20 ～ 14:10	休 憩	14:30 ～ 15:20
	教科 その他	一般 注意		国語		数学		社会		理科		英語

なお、英語については「聞き取りテスト」を含めて実施する。

(4) 受検場は、出願先高等学校とする。

8 面接 (7(2)イに示す以外の面接)

7(2)イに示す以外の面接の実施については、滋賀県教育委員会と協議のうえ、学力検査終了後またはその翌日に行うものとし、各県立高等学校ごとに定める実施要項によるものとする(別表1「高等学校別入学者選抜一覧表」を参照すること。)

9 選抜の方法

(1) 出願先高等学校長は、個人調査報告書、学力検査実施教科等の成績を資料として、高等学校教育を受けるに足る者を選抜し、入学許可予定者を決定するものとする。

(2) 3(3)に該当する県立高等学校の校長は、志願者の志望に基づき専門学科を優先して入学許可予定者を決定し、次に、普通科の入学許可予定者を決定するものとする。ただし、守山北高等学校においては、志願者の志望に基づきみらい共創科を優先して入学許可予定者を決定し、次に、普通科の入学許可予定者を決定するものとする。

10 入学許可予定者の発表

入学許可予定者の発表は、令和7年3月12日(水)に出願先高等学校において行うものとする。

11 追検査

(1) 対象者 インフルエンザに罹患するなど、やむを得ない理由で一般選抜における学力検査等(以下「本検査」という。)の受検が、学力検査の全ておよび面接(実施校のみ)または実技検査(実施校のみ)の全て、もしくはその両方ともできなかった者の中で、追検査の受検を希望する者。

(2) 申請期日 受検希望者は、令和7年3月7日(金)の原則午後3時までに、(3)の申請手続に従い必要な書類を提出すること。

(3) 申請手続

ア 追検査の受検を希望する志願者は、中学校長を経て、以下に掲げる書類を出願先高等学校長に提出しなければならない。ただし、出身中学校がない場合は、出願先高等学校長に直接提出すること。

(ア) 一般選抜追検査受検願書

(イ) 病院等が発行する診断書や公的な機関が発行する事故証明書等、本検査を受検できなかった理由が明確に分かるもの。

イ 申請手続きは、出願先高等学校で行うものとし、郵送による手続は認めない。

ウ 中学校長から追検査の受検希望の報告を受けた高等学校長は、速やかに県教育委員会（高校教育課）に報告し、追検査の受検の可否について協議しなければならない。協議終了後、高等学校長から中学校長を通じて志願者に連絡するものとする。

(4) 学力検査等

ア 志願者は、その出願先高等学校で定めた検査場において、定められた時間割に従って受検するものとする。

イ 学力検査の教科、期日および時間は、次のとおりとする。

期 日	時 限	1		2		3		4		5		6
令和7年 3月10日(月)	時 間	9:00 ～ 9:10	休	9:25 ～ 10:15	休	10:35 ～ 11:25	休	11:45 ～ 12:35	昼 食	13:20 ～ 14:10	休	14:30 ～ 15:20
	教 科	一 般	憩	国 語	憩	数 学	憩	社 会	食	理 科	憩	英 語
	その他	注 意										

なお、英語については「聞き取りテスト」を含めて実施する。

ウ 面接および実技検査は、令和7年3月10日(月)の学力検査終了後、出願先高等学校が定めた会場において行う（本検査で面接および実技検査を実施した学校のみ実施）。

エ 学力検査、面接および実技検査の実施・採点等については、一般選抜に準じて行うものとする。

なお、受検に関する留意事項としては、次のとおりとする。

(ア) 追検査は、一般選抜で出願した高等学校、学科について受検するものであり、志願の変更は認めない。

(イ) 学力検査および面接（実施校のみ）を欠席した者は学力検査および面接（実施校のみ）を受検し、実技検査（実施校のみ）を欠席した者は実技検査（実施校のみ）を受検するものとする。

なお、追検査は1日単位で欠席した者を対象とし、教科単位での受検は認めない。

(5) 受検場 受検場は、出願先高等学校とする。

(6) 選抜の方法 出願先高等学校長は、個人調査報告書、追検査実施教科等の成績を資料として、高等学校教育を受けるに足る者を選抜し、入学許可予定者を決定するものとする。

(7) 入学許可予定者の発表 10に同じ。

12 二次選抜

入学許可予定者数が募集定員に満たない学科または科において、次のとおり二次選抜を行うものとする。

(1) 二次選抜定員は、学科または科の募集定員から入学許可予定者数を減じた数とする。

(2) 出願資格は、2(1)から(3)までのいずれかに該当する者で、一般選抜を受検し、不合格となった者とする。

(3) 出願 3に同じ。

(4) 出願手続

ア 提出書類 4(1)(クを除く。)に同じ。ただし、4(1)オに規定する特別出願の許可申請期間は、令和7年3月12日(水)から令和7年3月14日(金)までとする。受付は、午前9時から午後5時までとする。ただし、最終日の受付は、正午までとする。

イ 手数料 4(2)に同じ。

ウ 中学校長は、志願者が当該県立高等学校を志願していることを確認し、提出された書類の内容を審査のうえ、二次選抜出願者一覧表2通、個人調査報告書および成績一覧表（ただし、推薦選抜、特色選抜、スポーツ・文化芸術推薦選抜、一般選抜で出願があった県立高等学校へは不要とする。）を作成し、志願者から提出された書類とともに出願先高等学校長に提出するものとする。

(5) 出願期間等

ア 期間 令和7年3月13日(木)および令和7年3月14日(金)とする。

イ 受付時間 午前8時40分から午後4時40分までとする。ただし、定時制の課程（夜間）にあつては、令和7年3月13日(木)は午後1時20分から午後8時までとし、令和7年3月14日(金)は午後1時20分から午後5時までとする。

郵送の場合は、令和7年3月13日(木)の消印のあるものに限り受け付ける。この場合において、中学校長は、郵送した時点で、出願者数等について、出願先高等学校長宛て電話で報告するものとする。

(6) 検査期日等

ア 検査期日は、令和7年3月18日(火)とする。

イ 検査時間

(ア) 全日制の課程および定時制の課程(昼間)

9:00 ~ 9:20 出欠調査、一般注意

9:20 ~ 9:30 休憩

9:30 ~ 面接および作文

(イ) 定時制の課程(夜間)

14:00 ~ 14:20 出欠調査、一般注意

14:20 ~ 14:30 休憩

14:30 ~ 面接および作文

ウ 二次選抜においては、面接および作文を出願者全員に対して行う。

なお、一般選抜において実技検査を実施する場合は、二次選抜においても実技検査を実施することができる。

エ 受検場は、出願先高等学校とする。

(7) 選抜の方法 出願先高等学校長は、個人調査報告書、面接および作文の結果を資料とし、7または11の学力検査の結果を参考資料として、高等学校教育を受けるに足る者を選抜し、入学許可予定者を決定するものとする。

(8) 入学許可予定者の発表 入学許可予定者の発表は、令和7年3月21日(金)に、出願先高等学校において行うものとする。

13 不正出願による入学許可の取消し

出願について不正の事実のあることが判明したときは、入学許可後においてもその許可を取り消すものとする。

14 入学者選抜結果の本人への提供

入学者選抜結果の本人への提供(検査結果提供)については、次のとおりである。

(1) 請求方法 受検者本人による口頭での請求とする。

(2) 対象となる個人情報の内容 学力検査各教科の得点および総合順位

(3) 請求を行うことができる期間 令和7年3月13日(木)から令和7年5月30日(金)(土曜日、日曜日、祝日および学校の指定する日を除く。)とする。受付時間は、午前9時から午後4時までとする。ただし、定時制の課程(夜間)にあっては、午後2時から午後8時までとする。

(4) 請求を行うことができる場所 県立高等学校入学者選抜の受検校

(5) 本人確認のための必要書類 受検票とする。ただし、受検票を紛失した場合は、本人確認の書類(パスポート、健康保険の被保険者証、マイナンバーカード、生徒証明書のいずれか)により確認する。

15 その他

(1) 書類を発送する場合は、全て「書留」、「簡易書留」または「書留」、「簡易書留」に準ずる方法(受付・配達記録が残りがつ対面で受け渡しができる方法)によるものとする。

(2) 県外からの志願者および2(3)に該当する志願者に対する必要な指示は、この要項に定めるもののほか、出願先高等学校長または県教育長が行うものとする。

(3) 海外帰国生徒等とは、海外帰国生徒または外国人生徒のうち、次のいずれにも該当する者とする。

ア 帰国または渡日後の期間

帰国し、または渡日した日から令和7年2月1日(土)までの期間が6年以内

イ 海外における在住期間

帰国または渡日時からさかのぼり継続して1年以上

(4) 受検に当たって特別な配慮を必要とする場合、中学校長は、志願者の状況等について、出願先高等学校長宛て申し出るものとする。

なお、上記の場合の受検上の配慮事項等については、別途示す。

(5) 出願先高等学校長は、この要項に定めるもののほか、あらかじめ県教育長の承認を受け、志願者に対して必要な指示を行うことができる。

(6) この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

第2 推薦選抜

1 実施校および募集枠

- (1) 推薦選抜を実施する学校、学科または科は、別表1「高等学校別入学者選抜一覧表」に示すとおりとする。
- (2) 推薦選抜における募集枠は、別表1「高等学校別入学者選抜一覧表」に示すとおりとする。

2 出願資格および推薦要件

推薦選抜に出願できる資格を有する者は、令和7年3月に中学校等を卒業し、または修了する見込みの者で、志願する動機が明白であり、出願先高等学校が示す推薦要件にふさわしく、適性、興味・関心および学習意欲を有する者のうち、中学校長の推薦を受けた者とする。

3 出願期間等

- (1) 期間 令和7年1月29日(水)および令和7年1月30日(木)とする。
- (2) 受付時間 午前8時40分から午後4時40分までとする。
郵送の場合は、令和7年1月29日(水)の消印のあるものに限り受け付ける。この場合において、中学校長は、郵送した時点で、出願者数等について、出願先高等学校長宛て電話で報告するものとする。

4 出願

- (1) 志願者は、県立学校の管理運営等に関する規則第11条第2項および第11条の3の規定に基づき出願することができる。
- (2) 出願は、1人1校、1課程、1学科または1科限りとする。ただし、スポーツ・文化芸術推薦選抜の志願者は、出願先高等学校が実施する同一課程、同一学科または同一科の推薦選抜を併願することができる。

5 出願手続

- (1) 提出書類 志願者は、次の書類を中学校長を経て出願先高等学校長に提出しなければならない。
 - ア 推薦選抜入学願書
 - イ 推薦選抜受検票 令和7年3月に滋賀県内の中学校等を卒業見込みの者以外の者は、出願前3箇月以内に撮影した無帽、正面上半身の写真(縦4cm、横3cm)を推薦選抜受検票の所定の欄に貼り、中学校長の割印を受けなければならない。
 - ウ 住民票記載事項証明書またはその写し 「第1 一般選抜」4(1)エに同じ。
 - エ 特別出願許可書の写し 「第1 一般選抜」4(1)オに同じ。ただし、出願手続までに許可を受けなければならない。
 - オ 海外帰国生徒等取扱措置願 「第1 一般選抜」4(1)キに同じ。
- (2) 手数料
 - ア 志願者は、出願に当たって、全日制の課程にあつては2,200円、定時制の課程にあつては950円の手数料に相当する額面の証紙を推薦選抜入学願書の証紙貼付欄に貼り付けなければならない。
 - イ 既納の手数料は、原則として還付しない。
- (3) 中学校長は、志願者が当該県立高等学校を志願していることを確認し、提出された書類の内容を審査のうえ、推薦選抜出願者一覧表2通、推薦書、個人調査報告書および成績一覧表を作成し、志願者から提出された書類とともに出願先高等学校長に提出するものとする。
- (4) 出願先高等学校長は、中学校長から提出された書類および手数料を確認のうえ、推薦選抜受検票に受検番号を付して、推薦選抜出願者一覧表1通とともに中学校長に交付するものとする。
- (5) 中学校長は、志願者に推薦選抜受検票を交付するものとする。

6 面接、作文または実技検査

推薦選抜出願者全員に対して面接、作文または実技検査のうちから二つ以内を課すものとし、その方法等は各県立高等学校ごとに定める実施要項によるものとする(別表1「高等学校別入学者選抜一覧表」および別表2「高等学校別推薦選抜の概要一覧表」を参照すること。)

- (1) 検査期日 令和7年2月5日(水)
- (2) 検査時間

9:00 ~ 9:20	出欠調査、一般注意
9:20 ~ 9:30	休憩
9:30 ~	面接、作文または実技検査
- (3) 受検場 出願先高等学校

7 選抜方法

出願先高等学校長は、中学校長から提出された個人調査報告書および推薦書等の内容ならびに面接、作文または実技検査の結果を資料として、総合的に判定し、推薦選抜における入学許可予定者を決定するものとする。

8 推薦選抜における入学許可予定者の通知

- (1) 出願先高等学校長は、令和7年2月13日(木)に当該中学校等を通じて本人に推薦選抜における入学許可予定を通知する。
- (2) (1)の通知は、推薦選抜入学許可予定者通知書（以下「推薦選抜通知書」という。）の交付によって行う。
- (3) 推薦選抜通知書の交付を受けた者は、当該県立高等学校に入学するものとする。

9 入学許可予定者の発表

- (1) 8(1)および(2)によって、推薦選抜通知書の交付を受けた者については、令和7年3月12日(水)に出願先高等学校で入学許可予定者として発表する。
- (2) 出願について不正の事実のあることが判明したときは、入学許可後においてもその許可を取り消すものとする。

10 推薦選抜の不合格者

推薦選抜に不合格となった者は、「第1 一般選抜」に定めるところにより、改めて出願することができる。

11 推薦選抜追検査

- (1) 対象者 インフルエンザに罹患するなど、やむを得ない理由で推薦選抜における検査（以下「推薦選抜本検査」という。）の受検が、面接、作文または実技検査の全てできなかった者の中で、推薦選抜追検査の受検を希望する者。
- (2) 申請期日 受検希望者は、令和7年2月7日(金)の原則午後3時までに、(3)の申請手続に従い必要な書類を提出すること。
- (3) 申請手続
 - ア 推薦選抜追検査の受検を希望する志願者は、中学校長を経て、以下に掲げる書類を出願先高等学校長に提出しなければならない。
 - (ア) 推薦選抜追検査受検願書
 - (イ) 病院等が発行する診断書や公的な機関が発行する事故証明書等、推薦選抜本検査を受検できなかった理由が明確に分かるもの。
 - イ 申請手続きは、出願先高等学校で行うものとし、郵送による手続は認めない。
 - ウ 中学校長から推薦選抜追検査の受検希望の報告を受けた高等学校長は、速やかに県教育委員会（高校教育課）に報告し、推薦選抜追検査の受検の可否について協議しなければならない。協議終了後、高等学校長から中学校長を通じて志願者に連絡するものとする。
- (4) 検査期日等
 - ア 検査期日 推薦選抜本検査を1日単位で欠席した者を対象とし、検査期日は令和7年2月12日(水)とする。
 - イ 検査時間 6(2)に同じ。
 - ウ 受検場 6(3)に同じ。
 - エ 検査内容 6に同じ。
- (5) 選抜の方法 出願先高等学校長は、中学校長から提出された個人調査報告書および推薦書等の内容ならびに面接、作文または実技検査の結果を資料として、総合的に判定し、推薦選抜における入学許可予定者を決定するものとする。
- (6) 推薦選抜追検査における入学許可予定者の通知 8に同じ。
- (7) 入学許可予定者の発表 9に同じ。
- (8) 推薦選抜追検査の不合格者 10に同じ。

12 その他

「第1 一般選抜」15に同じ。

第3 特色選抜

1 実施校および募集枠

- (1) 特色選抜を実施する学校、学科または科は、別表1「高等学校別入学者選抜一覧表」に示すとおりとする。
- (2) 特色選抜における募集枠は、別表1「高等学校別入学者選抜一覧表」に示すとおりとする。

2 出願資格

特色選抜に出願できる資格を有する者は、「第1 一般選抜」の2のいずれかに該当するもので、志願する動機が明白であり、適性、興味・関心および学習意欲を有する者とする。

3 出願期間等

- (1) 期間 令和7年1月29日(水)および令和7年1月30日(木)とする。
- (2) 受付時間 午前8時40分から午後4時40分までとする。
郵送の場合は、令和7年1月29日(水)の消印のあるものに限り受け付ける。この場合において、中学校長は、郵送した時点で、出願者数等について、出願先高等学校長宛て電話で報告するものとする。

4 出願

- (1) 志願者は、県立学校の管理運営等に関する規則第11条第2項および第11条の3の規定に基づき出願することができる。
- (2) 出願は、1人1校、1課程、1学科または1科限りとする。ただし、スポーツ・文化芸術推薦選抜の志願者は、出願先高等学校が実施する同一課程、同一学科または同一科の特色選抜を併願することができる。

5 出願手続

- (1) 提出書類 志願者は、次の書類を中学校長を経て出願先高等学校長に提出しなければならない。
 - ア 特色選抜入学願書
 - イ 特色選抜受検票 令和7年3月に滋賀県内の中学校等を卒業見込みの者以外の者は、出願前3箇月以内に撮影した無帽、正面上半身の写真(縦4cm、横3cm)を特色選抜受検票の所定の欄に貼り、中学校長の割印を受けなければならない。ただし、「第1 一般選抜」の2(3)に該当する者については、割印は不要とする。
 - ウ 志願理由書 志願者は、志願理由等を記した志願理由書を提出しなければならない。
 - エ 住民票記載事項証明書またはその写し 「第1 一般選抜」4(1)エに同じ。
 - オ 特別出願許可書の写し 「第1 一般選抜」4(1)オに同じ。ただし、出願手続までに許可を受けなければならない。
 - カ 海外帰国生徒等取扱措置願 「第1 一般選抜」4(1)キに同じ。
- (2) 手数料
 - ア 志願者は、出願に当たって、手数料2,200円に相当する額面の証紙を特色選抜入学願書の証紙貼付欄に貼り付けなければならない。
 - イ 既納の手数料は、原則として還付しない。
- (3) 中学校長は、志願者が当該県立高等学校を志願していることを確認し、提出された書類の内容を審査のうえ、特色選抜出願者一覧表2通、個人調査報告書および成績一覧表を作成し、志願者から提出された書類とともに出願先高等学校長に提出するものとする。
ただし、成績一覧表については、令和7年3月に中学校等を卒業し、または修了する見込みの者について作成するものとする。
- (4) 出願先高等学校長は、中学校長から提出された書類および手数料を確認のうえ、特色選抜受検票に受検番号を付して、特色選抜出願者一覧表1通とともに中学校長に交付するものとする。
- (5) 中学校長は、志願者に特色選抜受検票を交付するものとする。

6 口頭試問、小論文、総合問題または実技検査

特色選抜出願者全員に対して口頭試問、小論文、総合問題または実技検査のうちから二つ以上を課すものとし、その方法等は各県立高等学校ごとに定める実施要項によるものとする(別表1「高等学校別入学者選抜一覧表」および別表3「高等学校別特色選抜の概要一覧表」を参照すること。)

- (1) 実施日 令和7年2月5日(水)
- (2) 検査時間 9:00 ~ 9:20 出欠調査、一般注意
9:20 ~ 9:30 休憩
9:30 ~ 口頭試問、小論文、総合問題または実技検査
- (3) 受検場 出願先高等学校

7 選抜方法

出願先高等学校長は、志願者から提出された志願理由書および中学校長から提出された個人調査報告書等の内容ならびに口頭試問、小論文、総合問題または実技検査の結果を資料として、総合的に判定し、特色選抜における入学許可予定者を決定するものとする。

8 特色選抜における入学許可予定者の通知

- (1) 出願先高等学校長は、令和7年2月13日(木)に当該中学校等を通じて本人に特色選抜における入学許可予定を通知する。
- (2) (1)の通知は、特色選抜入学許可予定者通知書（以下「特色選抜通知書」という。）の交付によって行う。
- (3) 特色選抜通知書の交付を受けた者は、当該県立高等学校に入学するものとする。

9 入学許可予定者の発表

- (1) 8(1)および(2)によって、特色選抜通知書の交付を受けた者については、令和7年3月12日(水)に出願先高等学校で入学許可予定者として発表する。
- (2) 出願について不正の事実のあることが判明したときは、入学許可後においてもその許可を取り消すものとする。

10 特色選抜の不合格者

特色選抜に不合格となった者は、「第1 一般選抜」に定めるところにより、改めて出願することができる。

11 入学者選抜結果の本人への提供

入学者選抜結果の本人への提供（検査結果提供）については、次のとおりである。

- (1) 請求方法 受検者本人による口頭での請求とする。
- (2) 対象となる個人情報の内容 総合問題Ⅰの得点、総合問題Ⅱの得点、小論文の得点および総合順位
- (3) 請求を行うことができる期間 令和7年3月13日(木)から令和7年5月30日(金)（土曜日、日曜日、祝日および学校の指定する日を除く。）とする。受付時間は、午前9時から午後4時までとする。
- (4) 請求を行うことができる場所 県立高等学校入学者選抜の受検校
- (5) 本人確認のための必要書類 受検票とする。ただし、受検票を紛失した場合は、本人確認の書類（パスポート、健康保険の被保険者証、マイナンバーカード、生徒証明書のいずれか）により確認する。

12 その他

「第1 一般選抜」15に同じ。

第4 スポーツ・文化芸術推薦選抜

1 実施校および募集枠

- (1) スポーツ・文化芸術推薦選抜を実施する学校、学科または科は、別表1「高等学校別入学者選抜一覧表」に示すとおりとする。
- (2) スポーツ・文化芸術推薦選抜における募集枠は、別表4「高等学校別スポーツ・文化芸術推薦選抜の概要一覧表」に示すとおりとする。

2 出願資格および推薦要件

スポーツ・文化芸術推薦選抜に出願できる資格を有する者は、令和7年3月に中学校等を卒業し、または修了する見込みの者で、志願する動機が明白であり、出願先高等学校が示す推薦要件を満たし、適性、興味・関心および学習意欲を有する者のうち、中学校長の推薦を受けた者とする。

3 出願期間等

- (1) 期間 令和7年1月29日(水)および令和7年1月30日(木)とする。
- (2) 受付時間 午前8時40分から午後4時40分までとする。
郵送の場合は、令和7年1月29日(水)の消印のあるものに限り受け付ける。この場合において、中学校長は、郵送した時点で、出願者数等について、出願先高等学校長宛て電話で報告するものとする。

4 出願

- (1) 志願者は、県立学校の管理運営等に関する規則第11条第2項および第11条の3の規定に基づき出願することができる。
- (2) 出願は、1人1校、1課程、1学科または1科限りとする。ただし、出願先高等学校が実施する同一課程、同一学科または同一科の推薦選抜または特色選抜を併願することができる。

5 出願手続

- (1) 提出書類 志願者は、次の書類を中学校長を経て出願先高等学校長に提出しなければならない。
 - ア スポーツ・文化芸術推薦選抜入学願書
 - イ スポーツ・文化芸術推薦選抜受検票 令和7年3月に滋賀県内の中学校等を卒業見込みの者以外の者は、出願前3箇月以内に撮影した無帽、正面上半身の写真(縦4cm、横3cm)をスポーツ・文化芸術推薦選抜受検票の所定の欄に貼り、中学校長の割印を受けなければならない。
 - ウ 住民票記載事項証明書またはその写し 「第1 一般選抜」4(1)エに同じ。
 - エ 特別出願許可書の写し 「第1 一般選抜」4(1)オに同じ。ただし、出願手続までに許可を受けなければならない。
 - オ 海外帰国生徒等取扱措置願 「第1 一般選抜」4(1)キに同じ。
 - カ 上記に定めるもののほか、出願先高等学校長が求める書類
- (2) 手数料
 - ア 志願者は、出願に当たって、手数料2,200円に相当する額面の証紙をスポーツ・文化芸術推薦選抜入学願書の証紙貼付欄に貼り付けなければならない。推薦選抜または特色選抜を併願する場合は、別途、推薦選抜または特色選抜の手数料が必要となる。
 - イ 既納の手数料は、原則として還付しない。
- (3) 中学校長は、志願者が当該県立高等学校を志願していることを確認し、提出された書類の内容を審査のうえ、スポーツ・文化芸術推薦選抜出願者一覧表2通、スポーツ・文化芸術推薦選抜推薦書、個人調査報告書および成績一覧表を作成し、志願者から提出された書類とともに出願先高等学校長に提出するものとする。
- (4) 出願先高等学校長は、中学校長から提出された書類および手数料を確認のうえ、スポーツ・文化芸術推薦選抜受検票に受検番号を付して、スポーツ・文化芸術推薦選抜出願者一覧表1通とともに中学校長に交付するものとする。
- (5) 中学校長は、志願者にスポーツ・文化芸術推薦選抜受検票を交付するものとする。

6 検査方法等

- (1) スポーツ・文化芸術推薦選抜出願者全員に対して実技検査を実施するとともに、面接、作文または小論文のうちから一つを課すものとする。また、特色選抜実施校は、特色選抜の総合問題を併せて実施することができる(別表1「高等学校別入学者選抜一覧表」および別表4「高等学校別スポーツ・文化芸術推薦選抜の概要一覧表」を参照すること。)
- (2) 推薦選抜または特色選抜を併願する者については、スポーツ・文化芸術推薦選抜の検査に加え、推薦選抜または特色選抜と同じ内容の検査を課すものとする(別表2「高等学校別推薦選抜の概要一覧表」および別表3「高等学校別特色選抜の概要一覧表」を参照すること。)
- (3) 検査期日 令和7年2月5日(水)または令和7年2月6日(木)のいずれか一日
- (4) 検査時間 各県立高等学校ごとに定める実施要項によるものとする。
- (5) 受検場 出願先高等学校

7 選抜方法

- (1) 出願先高等学校長は、中学校長から提出された個人調査報告書およびスポーツ・文化芸術推薦選抜推薦書等の内容ならびに各検査の結果を資料として総合的に判定し、スポーツ・文化芸術推薦選抜における入学許可予定者を決定するものとする。
- (2) 出願先高等学校長は、推薦選抜または特色選抜を併願する志願者がある場合は、スポーツ・文化芸術推薦選抜の入学許可予定者を先に決定し、次に、推薦選抜または特色選抜の入学許可予定者を決定するものとする。

8 スポーツ・文化芸術推薦選抜における入学許可予定者の通知

- (1) 出願先高等学校長は、令和7年2月13日(木)に当該中学校等を通じて本人にスポーツ・文化芸術推薦選抜における入学許可予定を通知する。
- (2) (1)の通知は、スポーツ・文化芸術推薦選抜入学許可予定者通知書（以下「スポーツ・文化芸術推薦選抜通知書」という。）の交付によって行う。
- (3) スポーツ・文化芸術推薦選抜通知書の交付を受けた者は、当該県立高等学校に入学するものとする。

9 入学許可予定者の発表

- (1) 8(1)および(2)によって、スポーツ・文化芸術推薦選抜通知書の交付を受けた者については、令和7年3月12日(水)に出願先高等学校で入学許可予定者として発表する。
- (2) 出願について不正の事実のあることが判明したときは、入学許可後においてもその許可を取り消すものとする。

10 スポーツ・文化芸術推薦選抜の不合格者

スポーツ・文化芸術推薦選抜に不合格となった者（ただし、推薦選抜または特色選抜を併願し、これに合格した者を除く。）については、「第1 一般選抜」に定めるところにより、改めて出願することができる。

11 スポーツ・文化芸術推薦選抜追検査

- (1) 対象者 インフルエンザに罹患するなど、やむを得ない理由でスポーツ・文化芸術推薦選抜における実技検査等（以下「スポーツ・文化芸術推薦選抜本検査」という。）の受検が、実技検査および面接（実施校のみ）、作文（実施校のみ）、小論文（実施校のみ）または総合問題（実施校のみ）の全てでできなかった者の中で、スポーツ・文化芸術推薦選抜追検査の受検を希望する者。
- (2) 申請期日 受検希望者は、令和7年2月7日(金)の原則午後3時までに、(3)の申請手続に従い必要な書類を提出すること。
- (3) 申請手続
 - ア スポーツ・文化芸術推薦選抜追検査の受検を希望する志願者は、中学校長を経て、以下に掲げる書類を出願先高等学校長に提出しなければならない。
 - (ア) スポーツ・文化芸術推薦選抜追検査受検願書
 - (イ) 病院等が発行する診断書や公的な機関が発行する事故証明書等、スポーツ・文化芸術推薦選抜本検査を受検できなかった理由が明確に分かるもの。
 - イ 申請手続きは、出願先高等学校で行うものとし、郵送による手続は認めない。
 - ウ 中学校長からスポーツ・文化芸術推薦選抜追検査の受検希望の報告を受けた高等学校長は、速やかに県教育委員会（高校教育課）に報告し、スポーツ・文化芸術推薦選抜追検査の受検の可否について協議しなければならない。協議終了後、高等学校長から中学校長を通じて志願者に連絡するものとする。

(4) 検査期日等

- ア 検査期日 追検査は1日単位で欠席した者を対象とし、検査期日は令和7年2月12日(水)とする。
- イ 検査時間 6(4)に同じ。
- ウ 受検場 6(5)に同じ。
- エ 検査内容
 - (ア) 実技検査および面接を課す実施校
堅田、大津（普通科、家庭学科）、大津商業、河瀬、彦根翔西館、伊香（普通科、森の探究科）、長浜北星（全日制）、八幡工業、八幡商業、草津東（体育学科）、栗東（普通科）、水口、野洲、甲西、八日市南、伊吹、日野
 - (イ) 実技検査および小論文を課す実施校
長浜北、虎姫

- (5) 選抜の方法 出願先高等学校長は、中学校長から提出された個人調査報告書およびスポーツ・文化芸術推薦選抜推薦書等の内容ならびに各検査の結果を資料として総合的に判定し、スポーツ・文化芸術推薦選抜における入学許可予定者を決定するものとする。
- (6) スポーツ・文化芸術推薦選抜追検査における入学許可予定者の通知 8に同じ。
- (7) 入学許可予定者の発表 9に同じ。
- (8) スポーツ・文化芸術推薦選抜追検査の不合格者 10に同じ。

(9) その他

スポーツ・文化芸術推薦選拔出願時に推薦選抜を併願した者は、推薦選抜追検査を併願することができる。

12 その他

「第1 一般選抜」15に同じ。

第5 中高一貫教育に係る併設型高等学校の特例

1 入学者選抜の特例

滋賀県立学校の校舎、課程、部および学科等の設置等に関する規則（昭和63年滋賀県教育委員会規則第5号）第2条の表の左欄に掲げる中学校（以下「併設型中学校」という。）に在籍し、令和7年3月に卒業する見込みの者が、同表のそれぞれ当該右欄に掲げる高等学校（以下「併設型高等学校」という。）に、入学を志願する場合は、次により選抜を行わず入学許可予定者とするものとする。

2 併設型高等学校

併設型高等学校および学科は、次のとおりとする。

併設型中学校	併設型高等学校（学科）
滋賀県立河瀬中学校	滋賀県立河瀬高等学校（普通科）
滋賀県立守山中学校	滋賀県立守山高等学校（普通科）
滋賀県立水口東中学校	滋賀県立水口東高等学校(普通科)

3 出願手続

併設型高等学校への志願者は、併設型高等学校入学願書（様式は、各併設型高等学校長が定める。）を令和7年2月19日(水)または令和7年2月20日(木)に、併設型高等学校長に提出しなければならない。

なお、当該併設型高等学校以外の高等学校等へ出願する者は、1による入学者選抜の特例の適用を受けることができないものとする。

[通信制の課程] (単位制)

1 募集定員

募集定員は、別に定める。

2 出願資格

[全日制の課程および定時制の課程] 第1の2に同じ。

3 募集期間等

- (1) 期間 令和7年3月9日(日)から令和7年3月12日(水)まで(日曜日を含む。)とする。
- (2) 受付時間 午前9時から午後4時までとする。

4 出願

- (1) 志願者は、県立学校の管理運営等に関する規則第11条第2項および第11条の3の規定に基づき出願することができる。
- (2) 他の課程および県立高等学校との併願はできない。

5 出願手続

- (1) 出願に必要な書類は、次のとおりとする。

ア 入学願書

イ 面接票 志願者は、出願前3箇月以内に撮影した無帽、正面上半身の写真(縦4cm、横3cm)を面接票の所定の欄に貼り、中学校長の割印を受けなければならない。ただし、[全日制の課程および定時制の課程] 第1の2(3)に該当する者については、割印は不要とする。

ウ 住民票記載事項証明書またはその写し [全日制の課程および定時制の課程] 第1の4(1)エに同じ。

エ 特別出願許可書の写し [全日制の課程および定時制の課程] 第1の4(1)オ(ア)に同じ。ただし、特別出願許可書の申請期間は、令和7年2月20日(木)から令和7年3月12日(水)まで(土曜日、日曜日および祝日を除く。)とする。受付は、午前9時から午後5時までとする。ただし、最終日の受付は、正午までとする。

オ 雇用(予定)証明書 [全日制の課程および定時制の課程] 第1の4(1)カに同じ。

カ 海外帰国生徒等取扱措置願 [全日制の課程および定時制の課程] 第1の4(1)キに同じ。

- (2) 志願者は、(1)の書類に、中学校長の作成する個人調査報告書を添えて、出願先高等学校長宛て本人が直接提出しなければならない。ただし、県外からの志願者および[全日制の課程および定時制の課程] 第1の2(3)に該当する志願者は、出願先高等学校長に申し出て、その指示に従わなければならない。

6 面接

面接は、出願者全員に対して出願書類の提出時に実施し、その方法等は当該県立高等学校において定める実施要項によるものとする。

7 入学の許可

出願先高等学校長は、提出された個人調査報告書および面接の結果を資料として、総合的に判定し、入学許可予定者を決定するものとする。

8 入学許可予定者の発表

入学許可予定者の発表は、令和7年3月17日(月)に、出願先高等学校において行う。

9 二次選抜

入学許可予定者数が募集定員に満たない場合は、次のとおり二次選抜を行うものとする。

- (1) 二次選抜定員は、募集定員から入学許可予定者数を減じた数とする。

- (2) 出願資格は、2に同じ。

- (3) 募集期間等

ア 期間 令和7年3月19日(水)および令和7年3月21日(金)とする。

イ 受付時間 午前9時から午後4時までとする。

- (4) 出願 出願方法および出願手続は、4および5に同じ。ただし、5(1)エにおける特別出願許可書の許可申請期間は、令和7年3月13日(木)から令和7年3月21日(金)まで(土曜日、日曜日および祝日を除く。)とする。受付は、午前9時から午後5時までとする。ただし、最終日の受付は、正午までとする。

- (5) 面接 6に同じ。

- (6) 入学の許可 7に同じ。

- (7) 入学許可予定者の発表 入学許可予定者の発表は、令和7年3月25日(火)に、出願先高等学校において行う。

10 不正出願による入学許可の取消し

出願について不正の事実のあることが判明したときは、入学許可後においてもその許可を取り消すものとする。

11 その他

[全日制の課程および定時制の課程] 第1の15に同じ。

【転入学・編入学】（単位制による定時制の課程（昼間）の場合）

滋賀県教育委員会が単位制による定時制の課程（昼間）に転入生・編入生の枠として定めた募集定員に対して実施する入学者選抜に関しては、次に定めるところによる。

1 募集定員

募集定員は、別に定める。

2 出願資格

次の(1)に該当し、かつ、(2)または(3)のいずれかに該当する者とする。

- (1) 志願者が滋賀県内に住所もしくは勤務先を有する者または入学日までに県内に住所もしくは勤務先を有する見込みの者であること。
- (2) 転入学志願者 高等学校または中等教育学校の後期課程（以下「高等学校等」という。）に在学し、教科・科目の修得単位を有する者または有する見込みの者
- (3) 編入学志願者 過去に高等学校等に在学して、教科・科目の修得単位を有する者

3 募集期間等

- (1) 期間 令和7年3月7日(金)および令和7年3月10日(月)とする。
- (2) 受付時間 午前9時から午後4時までとする。
郵送の場合は、令和7年3月7日(金)の消印のあるものに限り受け付ける。この場合において高等学校等の校長は、郵送した時点で、出願者数等について、大津清陵高等学校の校長（以下「大津清陵高等学校長」という。）宛て電話で報告するものとする。

4 出願手続

- (1) 転入学志願者は、次の書類を在学している高等学校等の校長を経て、大津清陵高等学校長に提出しなければならない。
ア 転入学・編入学願書
イ 受検票 志願者は、出願前3箇月以内に撮影した無帽、正面上半身の写真（縦4cm、横3cm）を受検票の所定の欄に貼り、高等学校等の校長の割印を受けなければならない。
ウ 住民票記載事項証明書またはその写し 編入学志願者ならびに出願先高等学校長が必要と認めた者は、本人および保護者等の住民票記載事項証明書、またはその写しを提出しなければならない。
エ 特別出願許可書の写し 〔全日制の課程および定時制の課程〕第1の4(1)オ(ア)に同じ。ただし、特別出願許可書の申請期間は、令和7年2月20日(木)から令和7年3月7日(金)まで（土曜日、日曜日および祝日を除く。）とする。受付は、午前9時から午後5時までとする。
オ 雇用（予定）証明書 〔全日制の課程および定時制の課程〕第1の4(1)カに同じ。
カ 海外帰国生徒等取扱措置願 〔全日制の課程および定時制の課程〕第1の4(1)キに同じ。
- (2) 手数料 志願者は、出願に当たって、手数料950円に相当する額面の証紙を転入学・編入学願書に貼り付けなければならない。既納の手数料は、原則として還付しない。
- (3) 転入学志願者が在学している高等学校等の校長は、提出された書類の内容を審査のうえ、次の書類を作成し、志願者から提出された書類とともに大津清陵高等学校長に提出するものとする。
ア 単位修得証明書（単位修得見込みの教科・科目も付記すること。）（大津清陵高等学校の様式による。） 出願前3箇月以内に発行し、厳封したもの。
イ 成績証明書（大津清陵高等学校の様式による。） 出願前3箇月以内に発行し、厳封したもの。
ウ 転学照会書
- (4) 編入学志願者は、(1)の書類を過去に在学した高等学校等の校長が発行した(3)アおよびイの書類とともに、大津清陵高等学校長宛て直接提出しなければならない。

5 学力検査および面接

- (1) 選抜のための学力検査および面接は、志願者全員に対して行う。
- (2) 教科等、期日および時間は、次のとおりとする。

期日	時限	1		2		3		4		5
令和7年 3月13日(木)	時間	9:00 ～ 9:10	休 憩	9:25 ～ 10:15	休 憩	10:35 ～ 11:25	休 憩	11:45 ～ 12:35	昼 食	13:20 ～
	教科 その他	一般 注意		国語		数学		英語		面接

- (3) 内容 学力検査の内容は、各教科とも高等学校第1学年修了程度の基本的な問題とする。
なお、国語については「作文」を含め実施する。

- (4) 受検場は、大津清陵高等学校とする。

6 選抜の方法

大津清陵高等学校長は、成績証明書、学力検査の成績および面接の結果等を資料として、高等学校教育を受けるに足る者を選抜し、入学許可予定者を決定するものとする。

7 入学許可予定者の発表

入学許可予定者の発表は、令和7年3月17日(月)に、大津清陵高等学校において行う。

8 二次選抜

入学許可予定者が募集定員に満たない場合は、次のとおり二次選抜を行うものとする。

- (1) 二次選抜定員は、募集定員から入学許可予定者数を減じた数とする。
(2) 出願資格は、2に同じ。
(3) 募集期間等

ア 期間 令和7年3月17日(月)および令和7年3月18日(火)とする。

イ 受付時間 午前9時から午後4時までとする。

郵送の場合は、令和7年3月17日(月)の消印のあるものに限り受け付ける。この場合において、高等学校等の校長は、郵送した時点で、出願者数等について、大津清陵高等学校長宛て電話で報告するものとする。

- (4) 出願 出願手続は、4に同じ。ただし、4(1)エに規定する特別出願許可書の許可申請期間は、令和7年3月17日(月)および令和7年3月18日(火)とする。令和7年3月17日(月)の受付は午前9時から午後5時までとし、令和7年3月18日(火)の受付は午前9時から正午までとする。
(5) 学力検査および面接 5に同じ。ただし、検査期日は、令和7年3月21日(金)とする。
(6) 選抜の方法 6に同じ。
(7) 入学許可予定者の発表 入学許可予定者の発表は、令和7年3月25日(火)に、大津清陵高等学校において行う。

9 その他

- (1) 海外帰国生徒等に対する入学者選抜は、その者の海外経験等の事情を配慮するものとする。
(2) 出願について不正の事実のあることが判明したときは、入学許可後においてもその許可を取り消すものとする。

【別表1】

高等学校別入学者選抜一覧表（全日制の課程）

学 校 名	課 程	学 科	推薦選抜				特色選抜					スポーツ・文化芸術 推薦選抜								一般選抜								備考					
			募集 枠 (%)	面接	作文 検査	実技 検査	募集 枠 (%)	検査				募集枠 (人数)		検査						学力検査					面接	作文	実技 検査		学力 検査 得点	個人 調査 報告書			
								口頭 試問	小論文	実技 検査	総合 問題			検 査	個人 調査 報告書	ス ポ ー ツ 活 動	文 化 芸 術 活 動	面接	作文	実技 検査	適性 検査	小論文	総合 問題	国語							数学	社会	理科
膳 所	全日制	普通 理数					30		○		○	7：3									100	100	100	100	100				7：3				
							50		○		○	7：3									100	120	100	120	100				7：3				
堅 田	全日制	普通	30	○								3			○		○					100	100	100	100	100				5：5			
東 大 津	全日制	普通					30		○			○	7：3									100	100	100	100	100				7：3			
北 大 津	全日制	普通	30	○																100	100	100	100	100				5：5					
大 津	全日制	普通					30			○			○	6：4	3			○		○				○	100	100	100	100	100			7：3	
		家庭	40	○	○							3			○		○					100	100	100	100	100				7：3			
石 山	全日制	普通					30			○			○	7：3									100	100	100	100	100		※	7：3			
		音楽					75			○	○			7：3									100	100	100	100	100		100	7：3			
瀬田工業	全日制	工 業	50	○			○														100	100	100	100	100				5：5				
大津商業	全日制	商 業	50	○	○							17			○		○					100	100	100	100	100				6：4			
彦 根 東	全日制	普通					30			○			○	7：3									100	100	100	100	100				7：3		
河 瀬	全日制	普通					30			○			○	7：3		3	○		○				○	100	100	100	100	100			7：3		
彦根工業	全日制	工 業	50	○	○															100	100	100	100	100				5：5					
彦 根 翔 西 館	全日制	総 合	40	○	○							19			○		○					100	100	100	100	100				7：3			
長 浜 北	全日制	普通					30			○			○	6：4	8				○		○	○	100	100	100	100	100				7：3		
虎 姫	全日制	普通					30			○			○	6：4		3			○		○	○	100	100	100	100	100			7：3			
伊 香	全日制	普通	30	○								8		○		○					100	100	100	100	100				5：5				
		森の 探究	50	○	○						100										100	100	100	100				5：5					
長浜農業	全日制	農 業	50	○	○															100	100	100	100	100				5：5					
長浜北星	全日制	総 合	40	○	○							12			○		○					100	100	100	100	100				6：4			
八 幡	全日制	普通	30	○	○															100	100	100	100	100				7：3					
八幡工業	全日制	工 業	50	○	○							20			○		○					100	100	100	100	100				6：4			
八幡商業	全日制	商 業	50	○								4			○		○					100	100	100	100	100				5：5			
草 津 東	全日制	普通					30			○			○	6：4									100	100	100	100	100				7：3		
		体 育	85	○			○						26			○		○				100	100	100	100	100		100	6：4				
草 津	全日制	普通	30	○	○															100	100	100	100	100				6：4					
玉 川	全日制	普通					30			○			○	6：4									100	100	100	100	100				7：3		

- (注意) ・推薦選抜および特色選抜の募集枠(%)には、スポーツ・文化芸術推薦選抜の募集人数を含む。
 ・スポーツ・文化芸術推薦選抜の詳細については【別表4】に示す。
 ・学力検査得点と個人調査報告書の比率は、おおまかな「めやす」を示したものである。
 ・面接・作文・実技検査の欄の数字は、点数化している場合の満点を示している。
 ・※について、石山高等学校音楽科を第2志望とする者は、実技検査を受けなければならない。

学 校 名	課 程	学 科	推薦選抜				特色選抜					スポーツ・文化芸術 推薦選抜							一般選抜								備考					
			募集 枠 (%)	面接	作文	実技 検査	募集 枠 (%)	検査				個人 調査報告書	募集 枠 (人数)	検査						学力検査					面接	作文		実技 検査	学力 検査 得点	個人 調査報告書		
								口頭 試問	小論文	実技 検査	総合 問題			検 査	面接	作文	実技 検査	適性 検査	小論文	総合 問題	国語	数学	社会	理科							英語	
湖南農業	全日制	農 業	50	○																100	100	100	100	100				5 : 5				
守 山	全日制	普 通					30			○			○	7 : 3							100	100	100	100	100				7 : 3			
守 山 北	全日制	普 通	30	○	○																100	100	100	100	100				5 : 5			
		みらい 共創	50	○	○																	100	100	100	100	100				5 : 5		
栗 東	全日制	普 通	30	○										16			○		○					100	100	100	100	100			5 : 5	
		美 術	75			○																100	100	100	100	100		100	6 : 4			
国際情報	全日制	総 合	40	○	○																100	100	100	100	100				6 : 4			
水 口	全日制	普 通	30	○	○									7			○		○					100	100	100	100	100			6 : 4	
水 口 東	全日制	普 通					30			○			○	5 : 5								100	100	100	100	100				7 : 3		
甲 南	全日制	総 合	40	○																	100	100	100	100	100				5 : 5			
信 楽	全日制	総 合	40	○																		100	100	100	100	100				5 : 5		
		☆	○	○																												
野 洲	全日制	普 通	30	○										10			○		○					100	100	100	100	100			5 : 5	
石 部	全日制	普 通	30	○																	100	100	100	100	100				5 : 5			
甲 西	全日制	普 通	30	○										6			○		○					100	100	100	100	100			6 : 4	
高 島	全日制	普 通	20	○	○																	100	100	100	100	100				7 : 3		
		文 理 探 究					50			○			○	7 : 3									100	100	100	100	100				7 : 3	
安 曇 川	全日制	総 合	30	○																		100	100	100	100	100				6 : 4		
八 日 市	全日制	普 通					30			○			○	7 : 3								100	100	100	100	100				7 : 3		
能 登 川 (単位制)	全日制	普 通	30	○																		100	100	100	100	100				6 : 4		
八日市南	全日制	農 業	50	○										3			○		○					100	100	100	100	100			5 : 5	
伊 吹	全日制	普 通	30	○										10			○		○					100	100	100	100	100			5 : 5	
米 原	全日制	普 通					30			○			○	7 : 3								100	100	100	100	100				7 : 3		
		理 数					50			○			○	7 : 3									100	100	100	100	100				7 : 3	
日 野	全日制	総 合	40	○										5			○		○					100	100	100	100	100			5 : 5	
愛 知	全日制	普 通	30	○																		100	100	100	100	100	100			5 : 5		

(注意) ・推薦選抜および特色選抜の募集枠(%)には、スポーツ・文化芸術推薦選抜の募集人数を含む。

- ・スポーツ・文化芸術推薦選抜の詳細については「別表4」に示す。
- ・学力検査得点と個人調査報告書の比率は、おおまかな「めやす」を示したものである。
- ・面接・作文・実技検査の欄の数字は、点数化している場合の満点を示している。
- ・☆について、信楽高等学校総合学科の全国募集枠で5名を限度とする。

高等学校別入学者選抜一覧表（定時制の課程および通信制の課程）

学 校 名	昼間・お通 夜の信	学 科	推薦選抜			特色選抜					スポーツ・文化芸術 推薦選抜							一般選抜										備考			
			募集 枠 (%)	面接	作文	実技 検査	募集 枠 (%)	検査				募集 枠 (人数)	検査						学力検査					面接	作文	実技 検査	学力 検査 得点		個人 調査 報告書		
								口頭 試問	小論文	実技 検査	総合 問題		検査	個人 調査 報告書	面接	作文	実技 検査	適性 検査	小論文	総合 問題	国語	数学	社会							理科	英語
大津清陵 (単位制)	昼間	普通																										6 : 4			
	夜間	普通																										5 : 5			
	通信	普通																										#0 : 10			
瀬田工業 (単位制)	夜間	工業																										5 : 5	★		
彦根工業	夜間	工業																										5 : 5	★		
長浜北星	夜間	総合																										5 : 5	★		
能登川 (単位制)	昼間	普通	30		○																							6 : 4			
	夜間	普通																										6 : 4			

- （注意）
- ・推薦選抜および特色選抜の募集枠(%)には、スポーツ・文化芸術推薦選抜の募集人数を含む。
 - ・スポーツ・文化芸術推薦選抜の詳細については〔別表4〕に示す。
 - ・学力検査得点と個人調査報告書の比率は、おおまかな「めやす」を示したものである。
 - ・面接・作文・実技検査の欄の数字は、点数化している場合の満点を示している。
 - ・#について、学力検査は実施しない。
 - ・★について、定時制課程の特例措置あり。

高等学校別推薦選抜の概要一覧表

学 校 名	課 程	学 科	推 薦 選 抜				
			募 集 率 %	推 薦 要 件 “求める生徒像”	面 接	作 文	実 技 検 査 推薦書に記載を 求める事項
堅 田	全日制	普 通	30	本校への入学を熱望し、学習意欲が旺盛で、次のいずれかの要件を満たす者 a 大学等へ進学する強い意志と明確な目的意識を持ち、特進クラスでその目的を達成するため最大限の努力をする者 b スポーツ活動に顕著な実績を持ち、入学後も継続して部活動に意欲的に取り組む者	○		推薦要件 b による場合は、スポーツ活動における活動状況、出場大会名および成績・記録等。
北 大 津	全日制	普 通	30	本校への志望動機が明確で基本的生活習慣が身についており、次のいずれかの要件を満たす者 a 大学などへの進学をめざして努力する者 b 国際交流に興味や関心があり、オーストラリア・ニュージーランドの姉妹校への留学なども利用し、英語の学習に意欲的に取り組み、国際理解を深めたい者 c 体育活動および文化活動において優秀な成績や成果を収め、入学後も部活動を3年間継続する意志を持ち、学校行事や学級活動においてリーダーシップを発揮することが期待できる者	○		体育活動、文化活動、その他の活動等についての具体的な活動内容とその成果、実績。 検定、資格、表彰歴等の具体的な内容。
大 津	全日制	家 庭	40	本校志望の意志が強く、食物・被服・保育の分野に興味・関心があり、専門科目を中心とした実習科目に対する意欲が旺盛で、次の a、b の要件をともに満たす者 a 専門的な知識・技術を習得し、将来その分野での活躍を希望する者や、さらに高度な知識を得るため大学やその他上級学校へ進学を目指す者 b 部活動や生徒会活動に意欲的に取り組み、あるいは検定資格等を取得するなど、入学後も学校の活性化に寄与し、リーダーとして活躍が期待できる者	○	○	部活動、生徒会活動等における具体的な活動内容と成果、実績。 検定、資格、表彰歴等の具体的な内容。
瀬田工業	全日制	工 業	50	工業学科の学習に興味・関心を持ち、それを生かして社会に貢献することを望んでいる者。また、基本的生活習慣が身についており、学校生活を意欲的に取り組む者で、次のいずれかの要件を満たす者 a 学業成績が総合的に優れている者 b 体育的・文化的活動や生徒会活動において、優秀な成績や成果を収めた者 c 卒業後、工業技術者としての専門知識を生かし、企業に就職したい者 また、理工学部関係の大学等に進学し、さらに専門性を深めスペシャリストを目指したい者	○	○	体育的・文化的活動や特別活動等で特に顕著な結果。
大津商業	全日制	商 業	50	基本的生活習慣が身についており、商業学科の学習に強い意欲を持ち、次のいずれかの要件を満たす者 a 将来の進路に関して明確な目的意識を持ち、その達成に向けて努力する者 b 体育活動において優れた能力や適性を持ち、入学後も継続して部活動に意欲的に取り組む強い意志を有する者 c 文化、生徒会活動に意欲的に取り組み、リーダーとして活躍が期待できる者	○	○	要件 b による場合は体育活動における活動状況、出場大会名および成績記録等。
彦根工業	全日制	工 業	50	基本的生活習慣が身についており、志望する学科への意欲が旺盛でかつ目的意識が明確であり、次のいずれかの要件を満たす者 a ものづくりや資格取得など、工業に興味・関心が高く、一定の学力を有する者 b 体育的・文化的活動、および特別活動に顕著な成果を収めるなど、優れた能力・資質を有し、3年間継続して活動する意志があり、リーダーとして活躍が期待できる者	○	○	生徒会活動および体育的・文化的活動等の具体的な成果や実績。 検定・資格、表彰歴等、顕著な活躍。
彦根翔西館	全日制	総 合	40	学校生活に意欲的に取り組む者で、次のいずれかの要件を満たす者 a 総合学科に興味・関心を示し、将来の進路に関して主体的に探究する目的意識を持ち、その達成に向けて努力する者 b 体育的・文化的活動で優れた実績または優れた能力や適性を有し、入学後も部活動を3年間継続する意志を有する者	○	○	体育的・文化的活動で顕著な実績または優れた能力、適性を示す事項。

学 校 名	課 程	学 科	推 薦 選 抜				
			募 集 枠 %	推 薦 要 件 “求める生徒像”	面 接	作 文	実 技 検 査 推薦書に記載を 求める事項
伊 香	全日制	普 通	30	基本的な生活習慣が身についており、本校志望の意志が強く、学校生活に意欲的に取り組む者で、次のいずれかの要件を満たす者 a 本校での学習に強い興味・関心を持ち、学業成績が総合的に優れ、入学後も積極的に学習を続ける者 b 体育・文化・生徒会活動などの特別活動で優れた能力や適性を持ち、入学後もリーダーとして活躍が期待できる者	○		学習、体育、文化、生徒会活動、ボランティア活動などの成果。
		森 の 探 究	50	滋賀県の豊かな自然環境や地域文化に興味・関心を持ち、地域での活動に積極的に参加しようとする者で、本科志望の意志が強く、基本的な生活習慣が身についており、次のいずれかの要件を満たす者 a 本校での学習に強い興味・関心を持ち、学業成績が総合的に優れ、入学後も積極的に学習を続ける者 b 体育・文化・生徒会活動などの特別活動で優れた能力や適性を持ち、入学後もリーダーとして活躍が期待できる者	○	○	学習、体育、文化、生徒会活動、ボランティア活動などの成果。
長浜農業	全日制	農 業	50	人物・学業成績ともに優秀で、基本的な生活習慣（言葉遣いや礼儀作法等）が身についており、規律ある学校生活（時間やルール等がしっかり守れる）が送れる者 本校を志望する動機・理由が明確かつ適切であり、次のいずれかの要件を満たす者 a 動物、植物、食品等についての農業学習に対する興味・関心および学習意欲を有する者 b 生徒会活動、学級活動、部活動や文化的・体育的活動に積極的に取り組み、リーダーとして入学後も活躍できる者	○	○	農業学習に対する興味・関心、意欲。生徒会活動、学級活動や部活動における役職や具体的な活動成果。 文化的・体育的活動について、具体的な大会名と成果、貢献度など実績。 資格検定等の取得状況。
長浜北星	全日制	総 合	40	総合学科の特徴を十分に理解し、高い学習意欲を持ち、次のいずれかの要件を満たす者 a 工業・商業・福祉の専門科目や普通科とは違う特色のある科目を学んだことを生かして、深めながら大学進学を希望する者 b 自己の適性を見つけて、就職したいと考える者 c 体育部、文化部、生徒会活動において優れた能力や適性を持ち、入学後も意欲的に活動したいと考える者	○	○	資格取得、部活動の実績、生徒会活動の状況。
八 幡	全日制	普 通	30	本校志望の意志が強く、大学等への進学を希望する者で、体育的・文化的活動および生徒会活動などにおいて成果を収めた者	○	○	取得資格、体育的・文化的活動および生徒会活動等の具体的な成果や実績。
八幡工業	全日制	工 業	50	基本的な生活習慣が身についており、ものづくりや資格試験を含めた工業の学習に興味・関心があり、特別活動、部活動などの学校生活に取り組む意欲が旺盛で、次のいずれかの要件を満たす者 a 学業成績において総合的に優れている者 b 体育的活動で優れた実績、または優れた能力や適性を有し、他の模範となる者 c 文化的活動や特別活動などにおいて極めて優秀な成果を収めた者	○	○	体育的活動、文化的活動、その他の活動について、大会名・実績・貢献度など正確な実績と、資格の取得状況など。
八幡商業	全日制	商 業	50	志望する動機が明白で、次のいずれかの要件を満たす者 a 商業の専門教育に対する興味・関心があり、学習意欲のある者 b 体育活動や文化活動等の特別活動において優れた能力や適性を持ち、入学後も活躍が期待できる者	○		体育的・文化的活動における顕著な成果。
草 津 東	全日制	体 育	85	競技力の向上と本県のスポーツ振興を担う指導者等への道を目指し、意欲的に学習や部活動等に取り組み、本校の教育方針である「文武両道」を自ら実践しながら、現役で大学等の進路実現を志す者 各競技において、顕著な実績を持つ者で、意欲と能力のある者	○	○	特筆すべき運動能力。競技成績・競技実績等。 学習や生活に対する意欲・向上心・目的意識。

学 校 名	課 程	学 科	推 薦 選 抜				
			募 集 枠 %	推 薦 要 件 “求める生徒像”	面 接	作 文	実 技 検 査 推薦書に記載を 求める事項
草 津	全日制	普 通	30	本校入学後の高校生活について、はっきりとした目標と強い意欲を持つ者 で、同時に次のいずれかの要件を満たす者 a 学業成績が優秀で、入学後も自らの進路実現に向けて意欲的に学習に取り組める者 b 体育活動に優秀な成績を収め、入学後も意欲的に取り組み活躍が期待できる者 c 文化活動、生徒会活動などに優秀な成果を収め、入学後も意欲的に活動する意志のある者	○	○	学業・特別活動、スポーツ、文化または社会とのかかわりに関する具体的な成績や活動内容など。
湖南農業	全日制	農 業	50	農業（植物や食品、環境等）の学習に興味・関心があり、将来の進路実現に向け、目的意識を持って、何事にも真面目に意欲的に取り組むことができる者	○		体育・文化活動の記録。
守 山 北	全日制	普 通	30	基本的な生活習慣が身についており、本校志望の意志が強く、次のいずれかの要件を満たす者 a 部活動や生徒会活動で目標と意欲を持ち、入学後も積極的な活動が期待できる者 b 学習に対し意欲的に取り組み、自分の将来の進路について、目的意識を持つ者	○	○	体育的・文化的活動、生徒会活動や地域活動等での活動状況や成果。
		みらい 共 創	50	ものごとを深く考えたり試行錯誤しながら様々な角度から学習したりすることに興味・関心があり、本科への志望の意志が強く、次のいずれかの要件を満たす者 a 生徒会活動や地域課題の解決に意欲を持ち、入学後も積極的な活動が期待できる者 b 学習に対し意欲的に取り組み、自分の将来の進路について、目的意識を持つ者 c 部活動で目標と意欲を持ち、入学後も積極的な活動が期待できる者	○	○	体育的・文化的活動、生徒会活動や地域活動等での活動状況や成果。
栗 東	全日制	普 通	30	本校普通科を志望する意志が強く、次のいずれかの要件を満たす者 a スポーツ活動や文化活動において優れた能力を有し、本校入学後リーダーとしての活躍が期待できる者 b 学習意欲が旺盛で、本校入学後も希望進路実現に向け勉学に励むことができる者	○		スポーツ活動や文化活動における成績。生徒会活動やボランティア等の活動状況。各種検定の取得状況。
		美 術	75	本校美術科を志望する意志が強く、次のいずれかの要件を満たす者 a 美術的分野に興味・関心を持ち、専門的な勉学を希望する者 b 美術系上級学校（美術大学等）への進学を希望する者		○	美術関係の県および市・郡以上の展覧会での記録。スポーツ活動や文化活動における県大会以上の大会における成績。
国際情報	全日制	総 合	40	基本的な生活習慣が身についており、学校生活に意欲的に取り組める者 また、本校の「総合学科」の内容や趣旨を理解し、かつ、次のいずれかの要件を満たす者 a 学業成績が総合的に優れている者 b 英会話やものづくりなど、本校各系列の教育内容に合致した分野での能力や適性を持つ者 c 文化的・体育的活動に積極的に取り組み、リーダーとして入学後も活躍が期待できる者	○	○	体育・文化面での活動実績、生徒会活動および取得資格・検定など顕著な活躍の成果。
水 口	全日制	普 通	30	学業成績が優秀であり、言葉遣いや礼儀作法がしっかり身についていて、次のいずれかの要件を満たす者 a 大学への進学を志し、入学後は特進クラスで学業に励む強い意志を持つ者 b 英語の学習に対して強い意欲を持ち、国際理解や地域の歴史・文化に興味・関心が高く、入学後は国際文化コースで学業に励む強い意志を持つ者 c スポーツ活動の実績があり、入学後も部活動で競技をする意志の強い者	○	○	運動部・文化部活動での顕著な成果。検定資格。表彰歴、公的機関による派遣歴等。
甲 南	全日制	総 合	40	本校を志望する明確な意志があり、向上心と目的意識を持って高校生活を送れ、次のいずれかの要件を満たす者 a 自分自身の適性と能力を知り、計画的な学習ができること b 他の生徒の模範となり、リーダーシップが発揮できること c スポーツ・文化活動にめざましい活動をしていること	○		部活動の記録・成績・状況等。

学 校 名	課 程	学 科	推 薦 選 抜				
			募 集 枠 %	推 薦 要 件	面 接	作 文	実 技 検 査
				“求める生徒像”			推薦書に記載を 求める事項
信 楽	全日制	総 合	40	基本的な学習習慣や生活習慣が身についており、本校の「総合学科」の内容や趣旨を理解し、かつ、次のいずれかの要件を満たす者 a セラミック・デザイン・美術に強い興味・関心があり、将来に対する目的意識が明確な者 b 進学等の目的意識が明確で、その達成に向けて努力する者 c 体育・文化・生徒会活動に熱心に取り組む意欲のある者	○		学習および体育・文化・芸術・生徒会活動の成果。
			☆	他都道府県から志願する者で、信楽地域の伝統産業に関わるセラミック・デザインに強い興味・関心があり、将来に対する目的意識が明確で、基本的な学習習慣や生活習慣が身についている者	○	○	
野 洲	全日制	普 通	30	自分の将来の進路について目的意識を持ち、次のいずれかの要件を満たす者 a 学習意欲が旺盛で、何事にも意欲的に取り組む者 b スポーツ活動や文化活動において、優れた能力や適性を持つ者	○		体育的・文化的活動および生徒会活動等の具体的な成果や実績。資格等を有する者は、それを明示すること。
石 部	全日制	普 通	30	明確な志望動機があり、次のいずれかの要件を満たす者 a 学習意欲と規範意識が高く、主体的に行動できる者 b 部活動等に熱心に取り組む、十分な成果を上げ、より一層技術向上に努める者 c 福祉や健康に対する強い関心と興味を持ち、将来福祉分野、健康分野に関わる仕事に就きたいと考えている者	○		部活動や生徒会活動、ボランティア活動等における具体的な活動状況や成果。
甲 西	全日制	普 通	30	部活動面や学習面において優秀な成績を残した者で、次のいずれかの要件を満たす者 a 部活動面において優秀な成績を残した者で、本校で部活動を続ける意志を持つ者 b 学習面において優秀な成績を残した者で、4年制大学への進学を希望し、本校の特進クラスで勉学に励む意志を持つ者	○		特別活動における取り組み。学習活動における取り組み。
高 島	全日制	普 通	20	学校生活に意欲的に取り組み、自分の進路に対して目的意識を持つ者で、学習面や部活動・生徒会活動・資格取得や検定等において、優れた成績を残してきた者	○	○	部活動・生徒会活動等の活動実績および資格検定等における取得実績。
安 曇 川	全日制	総 合	30	本校志望の意志が強く、基本的生活習慣が身についており、学校生活に意欲的に取り組む者で、次のいずれかの要件を満たす者 a 総合学科の多様な学習内容に興味・関心および意欲を有し、特色ある選択科目の学習を通して進路希望の実現を図ろうとする者 b 体育的活動や文化的活動および生徒会活動等に積極的に取り組んだ者で、入学後も活躍が期待できる者	○		
能 登 川 (単位制)	全日制	普 通	30	学業への意欲が旺盛で、本校志望の意志が強く、次のいずれかの要件を満たす者 a 学業成績が優れている者で、主に4年制大学や看護・医療系分野などへの進学を強く希望する者 b 部活動、生徒会活動などに熱心に取り組んだ者で、本校入学後もこれらの活動に意欲的に取り組む意志を持ち、リーダーとして活躍が期待できる者	○		運動部、文化部活動での顕著な成果。検定資格、表彰歴、公的機関による派遣歴等。
八日市南	全日制	農 業	50	本校志望の意志が強く、学習意欲が旺盛で時間やルール等がしっかりと守れる者のうち、次のいずれかの要件を満たす者 a 動物、植物、食品および自然環境に興味・関心を持ち、将来本校で学んだことを生かして社会に貢献することを望んでいる者 b 生徒会、学級、文化、体育、芸術、ボランティア等の活動で顕著な成績を収め、入学後もリーダーとして活躍が期待できる者	○		生徒会、学級、文化、体育、芸術、ボランティア活動等の具体的な成果。
伊 吹	全日制	普 通	30	人物が優れ、学習意欲が旺盛で、入学後も体育コースまたは学力発展クラスで学ぶ意欲があり、次のいずれかの要件を満たす者 a 優れた運動能力・適性を持ち、入学後は強化指定部【サッカー(男)、ホッケー(男女)、野球(男)、バレーボール(男)、バスケットボール(女)】で活動する意志がある者 b 学習成果に優れ、将来の進路に対する目的意識が明確な者	○		部活動、生徒会、学習、芸術、ボランティア等の諸活動の成果または実績。

☆について、全国募集枠で5名を限度とする。

学 校 名	課 程	学 科	推 薦 選 抜				
			募 集 枠 %	推 薦 要 件 “求める生徒像”	面 接	作 文	実 技 検 査 推薦書に記載を 求める事項
日 野	全日制	総 合	40	本校のことをよく理解したうえで、本校志望の意志が強く、学習意欲が旺盛で、次のいずれかの要件を満たす者 a 学業成績が総合的に優れている者で、本校の総合学科での学習を通じて自分の進路を達成しようと強く決意している者 b 体育的活動や文化的活動において、優れた能力や適性を持ち、入学後もその分野での力を発揮しようと強く決意している者	○		生徒会、体育的・文化的分野での活動状況とその顕著な成果。
愛 知	全日制	普 通	30	音楽コース、体育コース、総合類型を持つ本校の特徴を理解し、学習目標が明確で志願意志が強く、次のいずれかの要件を満たす者 a 学業成績が総合的に優れている者 b 特別活動（部活動等）において顕著な実績がある者	○		学習に対する取り組み状況と特別活動・部活動等での実績。
能 登 川 (単位制)	定時制 (昼間)	普 通	30	学習意欲が旺盛で、中学校の基礎・基本事項を習得しており、将来の進路に対して明確な目的意識を持っている者		○	

高等学校別特色選抜の概要一覧表

学 校 名	課 程	学 科	特 色 選 抜					
			募集 枠 %	本校の特色	検査の概要			
					口頭 試 問	小 論 文	実 技 検 査	総 合 問 題
膳 所	全日制	普 通	30	国内外のよりよい未来の創造に貢献できるリーダーの育成を目指します。スーパーサイエンスハイスクールの指定を受け、生徒の主体的な活動や基礎基本を大切に授業に加え、仲間と課題解決に取り組む探究活動など、将来を見据えた教育を実践しています。大学との連携にも積極的に取り組んでいます。		論理的思考力、表現力、記述力等をみる。		国語、社会、数学、理科、英語の内容をもとに読解力や思考力、判断力、表現力等をみる。
		理 数	50	普通科の特色に加えて、連携する大学での特別授業により、最先端の研究に触れることができます。また、理数探究では数学や理科のグループ研究を行い、さらに発展的な学習を深め、科学的な探究能力を育成します。		論理的思考力、表現力、記述力等をみる。		国語、社会、数学、理科、英語の内容をもとに読解力や思考力、判断力、表現力等をみる。
東 大 津	全日制	普 通	30	校訓の3 F (Fight, Friendship, Fair play) に基づいて、日々の授業を大切にしながら大学との連携にも積極的に取り組み、生徒一人ひとりの進路実現をめざします。勉強と部活動を両立させて豊かな心と社会性を育み、変化の激しい社会を生き抜く力を身につけた、グローバル社会に貢献できる人材を育成します。		与えられた文章を理解する力、および自分の考えをまとめ、表現する力をみる。		国語、社会、数学、理科、英語の内容をもとに読解力、思考力、判断力、表現力等をみる。
大 津	全日制	普 通	30	SMILE教育の理念のもと、充実した学習活動 (Study) と学校行事や部活動 (Event) を通して礼儀作法 (Manners)、知性 (Intelligence)、愛・思いやる心 (Love) をバランスよく育成します。また、分割授業や I C T の積極的な活用などにより個々の進路希望の実現を目指します。		与えられたテーマに対する問題意識の程度を評価し、さらに論理的な思考力、また文章表現力をみる。		国語、社会、数学、理科、英語の内容をもとに読解力、思考力、判断力、表現力等をみる。
石 山	全日制	普 通	30	「高きを上げ」をモットーに、自由な中にも規律のある校風のもと自主性を重んじる部活動や生徒会活動が活発に行われています。希望の進路を実現できる確かな学力を培いながら、豊かな感性を育むとともに、多様性を尊重して仲間と協働し課題解決に向かう力を身につけた人材の育成をめざします。		与えられた文章等を読み、それに対する考えを記述する問題。		国語、社会、数学、理科、英語の内容をもとに読解力、思考力、判断力、表現力等をみる。
		音 楽	75	県内唯一の音楽科では、一流の音楽家による個人レッスンなどレベルの高い音楽教育を受けることで、音楽の専門家として必要な基礎力や広く音楽文化の創造発展に寄与する力を着実に身につけることができます。また「高きを上げ」をモットーにした校風のもと、希望の進路を実現できる確かな学力を育成します。		与えられた文章等を読み、それに対する考えを記述する問題。	専門実技能力および音楽基礎的能力をみる。	
彦 根 東	全日制	普 通	30	国宝の彦根城内にある学習環境の中で、生徒と教職員が力を合わせて楽しい学校を創り上げています。国から21年間連続で海外交流や科学技術教育の指定校に選ばれ、また彦根城周辺の充実したスポーツ・文化施設を活用し、生徒同士がお互いを尊重し思いやって、学業や部活動に挑戦しています。		与えられた文章を読み、問題設定能力や問題解決能力および表現力等をみる問題。		国語、社会、数学、理科、英語の内容をもとに読解力や思考力、判断力、表現力等をみる。
河 瀬	全日制	普 通	30	中高一貫教育校であり、中学生から高校生まで、お互いに仲間として、安心して高校生活を送ることができます。また、海外短期研修等の機会を生かして、海外事情や異文化理解を深めることができます。「一人ひとりの夢を実現させる活力ある進学校」として、きめ細かい学習指導を展開します。		与えられた資料や課題文等を読み、自分の考えをまとめ、適切に表現できる力等をみる。		国語、社会、数学、理科、英語の内容をもとに読解力、思考力、判断力、表現力等をみる。
長 浜 北	全日制	普 通	30	本校では、英語教育に重点的に取り組み、少人数クラスでスピーチやプレゼンテーション、ディベートなどの活動を行うことで、英語を活用できる力を伸ばす授業を行います。また、全ての教科で生徒自らが「考え」そして「発信」する力が身につく授業を行います。さらに充実した学校行事や活気ある部活動で、魅力と活力のある学校づくりをめざします。		自己の考えを論理的にまとめ、適切に表現する力をみる問題。		国語、社会、数学、理科、英語の内容をもとに読解力、思考力、判断力、表現力等をみる。

学 校 名	課 程	学 科	特 色 選 抜					
			募集 率 %	本校の特色	検査の概要			
					口 頭 試 問	小 論 文	実 技 検 査	総 合 問 題
虎 姫	全日制	普 通	30	本校では、国際バカロレア・ディプロマ・プログラムや、スーパーサイエンスハイスクールとして培った実験・実習を中心とした授業により、グローバルで探究的な学びに触れることができます。 知の世紀をリードする人材の育成をめざし、生徒一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばす、きめ細かな学習指導を行っています。		与えられた文章等を読み、自分の考えを論理的にまとめ、表現する力をみる問題。		国語、社会、数学、理科、英語の内容をもとに読解力や思考力、判断力、表現力等をみる。
草 津 東	全日制	普 通	30	高校生活や将来に対する明確な目的意識をもち、英語・数学・国語等の教科学習に対する興味関心が旺盛で、「文武両道」をめざし、現役で4年制国公立大学進学ができる、意欲的な生徒を育てます。		与えられた課題文を読んで、自分の考えや意見を適確に表現する力をみる問題。		国語、社会、数学、理科、英語の内容をもとに読解力や思考力、判断力、表現力等をみる。
玉 川	全日制	普 通	30	「自律・友愛・進取」の校訓のもと、人間性豊かで社会に貢献できる人材の育成を目指しています。 わかりやすい授業と熱心な部活動指導で両立を応援するとともに、将来の進路が切り拓けるような丁寧な指導をします。考える力、表現する力を大切にし、これからの社会を生きていくための基礎力を培います。		与えられた課題文を読み取り、自分の考えをまとめ、表現する問題。		国語、社会、数学、理科、英語の内容をもとに読解力や思考力、判断力、表現力等をみる。
守 山	全日制	普 通	30	新しい出会いと発見、感動とふれあいの中、共に学び語り合い、時に葛藤し友情を育みます。守山高校は、学習・部活動・特別活動すべてを大切に、将来に向けた生き方を指導しています。次世代リーダーの育成を目指し、充実した進路指導で夢の実現をサポートします。		与えられた課題文を読み、自分の考えをまとめることにより論理的思考力、発想力、記述力等をみる。		国語、社会、数学、理科、英語の内容をもとに読解力や思考力、判断力、表現力等をみる。
水 口 東	全日制	普 通	30	「われらに意気と誇りあり、われらに愛と誠あり、われらに信と力あり」の精神のもと、将来を力強く切り拓いていける人材の育成を目指します。自ら学ぶ姿勢を育むきめ細かな学習指導、若いエネルギーを思いっきり注げる部活動や自主活動、そして現役合格を目指した丁寧な進路指導で夢の実現をサポートします。		与えられた文章等を的確に読み取る力や自分の考えをまとめ、表現する力等をみる。		国語、社会、数学、理科、英語の内容をもとに読解力や思考力、判断力、表現力等をみる。
高 島	全日制	文 理 探 究	50	豊かな人間性を備え、調和のとれた人材を育成します。進学に特化したカリキュラムで難関大学を目指すとともに、グローバルな時代に主体的かつ柔軟に対応し、幅広い分野で活躍できる資質や能力を育成するため、文理の両面において、自ら課題を発見し、協働して探究活動に取り組む教育を実践します。		与えられた課題文を的確に読み取る力や、自分の考えを論理的にまとめ、適切に表現できる力をみる。		国語、社会、数学、理科、英語の内容をもとに読解力や思考力、判断力、表現力等をみる。
八 日 市	全日制	普 通	30	「自彊不息(じきょうやすまず)*自ら努め励むこと」「自主協同」という2つの校訓に、本校の校風と伝統が集約されています。自由で伸びやかな雰囲気の中で学習活動と生徒会活動・部活動との両立を果たそうとする生徒に、確かな学力を身につける熱心な教科指導と一人ひとりの志望に応じた丁寧な進路指導を行っています。		中学校で学習した基礎的な内容について、論理的に自分の考えをまとめ、表現する力をみる。		国語、社会、数学、理科、英語の内容をもとに読解力や思考力、判断力、表現力等をみる。
米 原	全日制	普 通	30	「清純敦厚」の校訓のもと、授業や課外活動を通して、確かな学力と豊かな心を育みます。普通科には、「普通類型」と「英語コース」があります。 「普通類型」は、文系にも理系にも対応した教育課程が特徴です。「英語コース」は、国際社会や大学進学に適應する高度な英語力を養成します。		文章や資料を的確に読み取り、論理的に思考し、適切に表現する力をみる。		国語、社会、数学、理科、英語の内容をもとに読解力や思考力、判断力、表現力等をみる。
		理 数	50	県下初の理数科として設置され、多くの卒業生が科学技術者として活躍しています。充実した設備を利用して実験・実習・演習を中心とした授業を行い、自然科学を系統的に学べるように工夫しており、将来、科学技術系への進学をめざす人に最適です。理数科ならではの行事も豊富にあります。		文章や資料を的確に読み取り、論理的に思考し、適切に表現する力をみる。		国語、社会、数学、理科、英語の内容をもとに読解力や思考力、判断力、表現力等をみる。

〔別表４〕

高等学校別スポーツ・文化芸術推薦選抜の概要一覧表

スポーツ・文化芸術推薦選抜												
学 校 名	課 程	学 科	競 技 部 門 種 目	募 集 枠	推薦要件、および実技検査の概要	面 接	作 文	実 技 検 査	適 性 検 査	小 論 文	総 合 問 題	推薦書に記載を 求める事項
堅 田	全日制	普 通	ウエイトリフティング	男女 3名 以内	【推薦要件】 本校への入学を熱望し、学業成績が優秀であり、学習および部活動に取り組む意欲が旺盛で、次のa・b両方の要件を満たす者 a 入学後はウエイトリフティング部に入学し、3年間活動する強い意志のある者 b 優れた運動能力・適性をもち、入学後は体育的活動のリーダーとして活躍できる者 【実技検査】 ・体幹筋力を評価するための検査 ①背筋力計による検査 ・器具を用いた基本動作をする検査 ①オーバーヘッドスクワット ②スナッチ ③クリーン&ジャーク	○		○				・中学校での運動部活動の競技名・活動内容・実績等、または学校外における体育的活動の競技名・活動内容・実績等
大 津	全日制	家 庭	カヌー	男女 2名 以内	【推薦要件】 (カヌー) 食物・被服・保育の分野を中心に学習する家庭科学科に興味・関心があり、将来その分野での活躍を希望する者で、入学後は本校カヌー部で活動する強い意志をもち、次のいずれかの要件を満たす者 a カヌー競技において、競技団体主催の大会に参加した者 b カヌー競技団体が主催する競技を目的としたカヌー教室等に参加し、入学後、活躍が期待できる者	○		○				(カヌー) ・競技団体が主催する大会での成績や、競技を目的としたカヌー教室に参加した証明等、カヌー競技にかかる活動の証明
			ボート	女子 1名 以内	(ボート) 食物・被服・保育の分野を中心に学習する家庭科学科に興味・関心があり、将来その分野での活躍を希望する者で、入学後は本校ボート部で活動する強い意志をもち、次のいずれかの要件を満たす者 a 全国中学通信制マシン・ローイング大会記録全国30位以内の者 b 全国中学選手権競漕大会ベスト12位以上の成績を収めたクルーの正選手として出場した者 c 全国中学校選抜ボート大会においてベスト12位以上の成績を収めた者 【実技検査】 (カヌー) ・運動能力を測る検査 反復横とび、立ち幅とび ・競技力を測る検査 エルゴメーター、パドリングフォーム (ボート) ・運動能力を測る検査 反復横とび、立ち幅とび ・競技力を測る検査 エルゴメーターによる1000mタイムトライアル							(ボート) ・全国大会（正式名称記載）における成績および、全国中学通信制マシン・ローイング大会記録
大 津	全日制	普 通	カヌー	男女 2名 以内	【推薦要件】 (カヌー) 学習意欲が旺盛で、明確な志望動機があり、入学後は本校カヌー部で活動する強い意志をもち、次のいずれかの要件を満たす者 a カヌー競技において、競技団体主催の大会に参加した者 b カヌー競技団体が主催する競技を目的としたカヌー教室等に参加し、入学後、活躍が期待できる者	○		○			○	(カヌー) ・競技団体が主催する大会での成績や、競技を目的としたカヌー教室に参加した証明等、カヌー競技にかかる活動の証明
			ボート	女子 1名 以内	(ボート) 学習意欲が旺盛で、明確な志望動機があり、入学後は本校ボート部で活動する強い意志をもち、次のいずれかの要件を満たす者 a 全国中学通信制マシン・ローイング大会記録全国30位以内の者 b 全国中学選手権競漕大会ベスト12位以上の成績を収めたクルーの正選手として出場した者 c 全国中学校選抜ボート大会においてベスト12位以上の成績を収めた者							(ボート) ・全国大会（正式名称記載）における成績および、全国中学通信制マシン・ローイング大会記録

学 校 名	課 程	学 科	スポーツ・文化芸術推薦選抜									
			競 技 部 種 目	募 集 枠	推薦要件、および実技検査の概要	面 接	作 文	実 技 検 査	適 性 検 査	小 論 文	総 合 問 題	推薦書に記載を 求める事項
大 津	全日制	普 通			【実技検査】 (カヌー) ・運動能力を測る検査 反復横とび、立ち幅とび ・競技力を測る検査 エルゴメーター、パドリングフォーム (ボート) ・運動能力を測る検査 反復横とび、立ち幅とび ・競技力を測る検査 エルゴメーターによる1000mタイムトライアル							
大津商業	全日制	商 業	陸 上 競 技	男女 10 名 以内	【推薦要件】 (陸上競技) 次の a・b に当てはまり、c～f のいずれかの要件 に該当する者 a 基本的生活習慣が身についており、商業学科の特 色を理解し、学習意欲が旺盛である者 b 入学後本校陸上競技部に所属し、3 年間継続して 取り組む強い意志がある者 c 全国中学校体育大会、国民体育大会、ジュニアオ リンピックなどの全国大会出場者 d 近畿中学校体育大会などの地区大会出場者 e 県中学校体育大会 8 位入賞者 f 上記の競技成績と同等の優れた運動能力があると 認められる者	○		○				・中学校の在学中 の学習や生活につ いての所見 ・中学校在学中の 競技成績、競技実 績記録とその証明 となるもの ・新体力テストの 結果
			ソフト ボール	女子 7 名 以内	(ソフトボール) 次の a・b に当てはまり、c～e のいずれかの要件 に該当する者 a 基本的生活習慣が身についており、商業学科の特 色を理解し、学習意欲が旺盛である者 b 入学後本校ソフトボール部に所属し、3 年間継続 して取り組む強い意志がある者 c 中体連主催またはソフトボール協会主催の県外大 会に県代表として出場したチームで活動した者 d 県の選抜チームに選出され活動した者 e 中体連主催の県大会でベスト 8 以上の成績を収め たチームの正選手として出場した者 【実技検査】 (陸上競技) 3 種目を選択する。 ○30m 走 ○反復横とび ○立ち幅とび ○メディシンボール投げ (ソフトボール) ○20m 走 ○キャッチボール ○ティーバッティング ○ピッチング (投手)、フィールディング (野手)							
河 瀬	全日制	普 通	吹奏楽	3 名 以内	【推薦要件】 学習意欲が旺盛で、中学校で吹奏楽部に所属してい た者、または個人としての楽器演奏（ここでの楽器 は、吹奏楽部で演奏する楽器を指す。）に高い技術 や能力を有する者で、音楽や楽器演奏に興味・関心 が高く、高校において吹奏楽部に所属し、意欲的に 活動しようとする者 【実技検査】 楽器演奏の実技により、演奏の基礎的な技能や能力 を検査する	○		○			○	・中学校での吹奏 楽部の活動実績と 推薦される者の果 たした役割 ・演奏可能な楽器 と演奏程度

学 校 名	課 程	学 科	スポーツ・文化芸術推薦選抜									
			競 技 部 門 種 目	募 集 枠	推薦要件、および実技検査の概要	面 接	作 文	実 技 検 査	適 性 検 査	小 論 文	総 合 問 題	推薦書に記載を 求める事項
彦 根 翔 西 館	全日制	総 合	陸 上 競 技	男女 10 名 以内	【推薦要件】 (陸上競技) 次の a・b に当てはまり、c～g のいずれかの要件に該当する者。なお、c～e については、同等であると 考えられる大会を含む a 入学後本校陸上競技部に所属し、3 年間継続して 活躍する強い意志がある者 b 志願理由が明確かつ適切で、入学後も意欲的な高 校生活を送ることが期待される者 c 全国中学校体育大会、国民体育大会、ジュニアオ リンピックのいずれかの大会出場者 d 近畿中学校体育大会出場者 e 県中学校体育大会 6 位以内入賞者 f 優れた運動能力・適性をもち、入学後は体育的活 動のリーダーとして活躍できる者 g 本校へ入学後、近畿大会はもとより全国高等学校 総合体育大会や選抜大会などの全国大会に出場 し、活躍が見込める者	○		○				・中学在学中の所 見 ・中学在学中の活 動実績記録とその 証明となるもの
			ハンド ボール	男子 3 名 以内	(ハンドボール) 次の a・b に当てはまり、c～h のいずれかの要件に 該当する者。なお、c～f については、同等であると 考えられる大会を含む a 入学後本校ハンドボール部に所属し、3 年間継続 して活躍する強い意志がある者 b 志願理由が明確かつ適切で、入学後も意欲的な高 校生活を送ることが期待される者 c 全国中学校体育大会、国民体育大会、ジュニアオ リンピックカップ、春の中学生ハンドボール選手 権大会のいずれかの大会出場者 d 近畿中学校体育大会出場者 e 県中学校体育大会ベスト 8 以上入賞者 f 県選抜チームに選出されて活動していた者 g 優れた運動能力・適性をもち、入学後は体育的活 動のリーダーとして活躍できる者 h 本校へ入学後、近畿大会はもとより全国高等学校 総合体育大会や選抜大会などの全国大会に出場 し、活躍が見込める者							
			ハンド ボール	女子 3 名 以内	(ハンドボール) 次の a・b に当てはまり、c～h のいずれかの要件に 該当する者。なお、c～f については、同等であると 考えられる大会を含む a 入学後本校男子ハンドボール部に所属し、3 年間 継続して活躍する強い意志がある者 b 志願理由が明確かつ適切で、入学後も意欲的な高 校生活を送ることが期待される者 c 全国中学校体育大会、国民体育大会、ジュニアオ リンピックカップのいずれかの大会出場者 d 近畿中学校体育大会出場者 e 県中学校体育大会ベスト 8 以上入賞者 f 県選抜チームに選出されて活動していた者 g 優れた運動能力・適性をもち、入学後は体育的活 動のリーダーとして活躍できる者 h 本校へ入学後、近畿大会はもとより全国高等学校 総合体育大会や選抜大会などの全国大会に出場 し、活躍が見込める者							
			バドミ ント	男子 3 名 以内	(バドミントン) 次の a・b に当てはまり、c～h のいずれかの要件に 該当する者。なお、c～f については、同等であると 考えられる大会を含む a 入学後本校男子バドミントン部に所属し、3 年間 継続して活躍する強い意志がある者 b 志願理由が明確かつ適切で、入学後も意欲的な高 校生活を送ることが期待される者 c 全国中学校体育大会、国民体育大会、ジュニアオ リンピックカップのいずれかの大会出場者 d 近畿中学校体育大会出場者 e 県中学校体育大会ベスト 8 以上入賞者 f 県選抜チームに選出されて活動していた者 g 優れた運動能力・適性をもち、入学後は体育的活 動のリーダーとして活躍できる者 h 本校へ入学後、近畿大会はもとより全国高等学校 総合体育大会や選抜大会などの全国大会に出場 し、活躍が見込める者 【実技検査】2 種目を選択する (陸上競技) ○20mシャトルラン ○立ち五段とび ○メディシンボール投げ ○30m走 ○30mハードル (ハンドボール) ○20mシャトルラン ○30m走 ○反復横とび (バドミントン) ○20mシャトルラン ○30m走 ○反復横とび							

学 校 名	課 程	学 科	スポーツ・文化芸術推薦選抜									
			競 技 部 門 種 目	募 集 枠	推薦要件、および実技検査の概要	面 接	作 文	実 技 検 査	適 性 検 査	小 論 文	総 合 問 題	推薦書に記載を 求める事項
長 浜 北	全日制	普 通	ソフト テニス	男子 4名 以内	【推薦要件】 学習意欲が旺盛で基本的な生活習慣が身についており、本県のスポーツ振興を担う指導者等への道を志し、入学後は本校ソフトテニス部に所属し3年間活動する強い意志をもつ者で、次のいずれかの要件を満たす者 a 全国大会出場者 b 近畿大会出場者 c 県大会上位入賞者 団体戦ベスト8、または個人戦ベスト32以上の成績を収めた者 【実技検査】 ○反復横とび ○サーブ ○ストローク			○		○	○	・大会名、開催年、成績等を正確に記載
			ソフト テニス	女子 4名 以内								
虎 姫	全日制	普 通	英会話 (ESS)	3名 以内	【推薦要件】 探究心旺盛で、議論や質疑に積極的に取り組むことができる者。また、英語で話すこと、ディベート等に興味をもち、本校 ESS に加入して活動する意志をもつ者。かつ、実用英語技能検定準2級以上（令和6年12月末までに取得しているもの）の資格を有する者 【実技検査】 英語による面接形式のスピーキングテスト。試験官による英語での質問に、英語で解答する形式。事物の説明等を求める質問を通じて、英語の語彙力や表現力を問う。			○		○	○	・実用英語技能検定取得状況（令和6年12月末までに取得している準2級以上のもの）
伊 香	全日制	普 通 森の探究	柔 道	男子 5名 以内	【推薦要件】 柔道初段もしくは柔道1級、2級を取得しており、学習意欲が旺盛で、明確な志望動機があり、入学後も本校柔道部に所属し、3年間継続して活動する強い意志がある者 【実技検査】 基本動作、受け身、一人のできる打ち込み、連続技	○		○				・中学校在学中の学習や生活についての所見 ・中学校在学中の競技成績、競技実績等の記録
			柔 道	女子 3名 以内								
長浜北星	全日制	総 合	水 球	男子 7名 以内	【推薦要件】 (水球) 基本的な生活習慣が身についており、総合学科の特徴を十分に理解し学習意欲をもち、入学後は水泳部に所属し活動する者で、次のいずれかの要件を満たす者 a 優れた運動能力や適性をもつ者で、意欲的に水泳競技（水球）に取り組む強い意志がある者 b スポーツ活動に実績があり、入学後も活躍が期待できる者 (相撲) 基本的な生活習慣が身についており、総合学科の特徴を十分に理解し、学習意欲をもち、入学後は相撲サークルに所属し活動する者で、次のいずれかの要件を満たす者 a 全国大会出場者 b 近畿大会出場者 c 県内大会に出場し5位以内の入賞者 d 柔道、レスリング、アメリカンフットボール等のコンタクトスポーツ活動に実績があり、意欲的に相撲に取り組む強い意志のある者 【実技検査】 (水球) 100mを2泳法（平泳ぎ 50m、自由形 50m）で泳ぎ、競泳時間を計測しフォームを審査する (相撲) 体力を測るもの（長座体前屈、握力、立ち幅とび）と相撲の基本動作を測るもの（四股、腰割り姿勢、すり足移動）を行う。	○		○				・新体力テストの結果等 ・大会の記録等
			相 撲	男子 5名 以内								

学 校 名	課 程	学 科	スポーツ・文化芸術推薦選抜									
			競 技 部 門 種 目	募 集 枠	推薦要件、および実技検査の概要	面 接	作 文	実 技 検 査	適 性 検 査	小 論 文	総 合 問 題	推薦書に記載を 求める事項
八幡工業	全日制	工 業	剣 道	男子 5 名 以内	【推薦要件】 学習意欲が旺盛で、入学後各指定競技の部活動を継続する強い意志をもち、次のような要件を満たす者。(以下に示す各大会は同等であると考えられる大会を含む) (剣道) a 中学校体育連盟・スポーツ少年団・道場連盟の主催する全国大会出場 b 中学校体育連盟・スポーツ少年団・道場連盟の主催する近畿大会出場 c 県内大会上位入賞者 ・ 県中学校体育大会団体ベスト4 以上または個人ベスト8 以上 ・ 県中学校体育大会各ブロック大会個人ベスト4 以上 d ジュニア強化指定選手 e 剣道二段を有し、本県での活躍が期待できる者	○		○				(剣道) ・大会等の競技成績および段位
			バスケットボール	男子 5 名 以内	(バスケットボール) a 全国中学校体育大会出場者 b 近畿中学校体育大会出場者 c 県内大会ベスト8 以上 d 身体能力に優れた者							(バスケットボール) ・大会等の競技成績
			ラグビーフットボール	男子 10 名 以内	(ラグビーフットボール) a 近畿中学校体育大会出場者 b 県内大会ベスト8 以上 c 身体能力に優れた者 【実技検査】 (剣道) 素振り、切り返し、基本技、応じ技、および稽古 (バスケットボール) ゴール下シュート、ミドルシュート、ドリブル、コート1 往復ダッシュ (ラグビーフットボール) 50m走、筋力測定、ハンドリング							(ラグビーフットボール) ・大会等の競技成績
八幡商業	全日制	商 業	カヌー	男女 2 名 以内	【推薦要件】 本校志望の意志が強く、学習意欲が旺盛で時間やルール等がしっかり守れ、商業の学習に興味・関心をもち、将来本校で学んだことを生かして社会に貢献することを望んでいる者のうち、カヌー競技に関しては、次の要件のいずれかを満たし、サッカー競技については、次の要件を満たす者 (カヌー) 県市町やカヌー競技団体が主催するカヌー競技会に参加している、または県市町やカヌー競技団体が主催する競技を目的としたカヌー教室等に参加した者で、入学後も3年間継続して活動する強い意志をもち、リーダーとして活躍が期待できる者	○		○				・各指定競技に適した特筆すべき運動能力、競技成績、実技実績等 ・学習や生活に対する意欲・向上心・目的意識 (カヌー) ・県、市町やカヌー競技団体が主催する競技を目的としたカヌー教室等に参加したことがわかる文書やカヌー競技の活動の活動証明、顕著な実績等
			サッカー	女子 2 名 以内	(サッカー) サッカーへの強い関心をもち、入学後女子サッカー部にて3年間積極的に活動する意志を有する者 【実技検査】 競技に必要な基本的な技能や技術をみるための検査 (カヌー) 運動能力 シャトルラン、立ち幅とび 競技力 上半身の筋力テスト (サッカー) 運動能力 シャトルラン 競技力 リフティング、ドリブルシュート							(サッカー) ・学習や生活に対する意欲・向上心・目的意識

学 校 名	課 程	学 科	スポーツ・文化芸術推薦選抜									
			競 技 部 門 種 目	募 集 枠	推薦要件、および実技検査の概要	面 接	作 文	実 技 検 査	適 性 検 査	小 論 文	総 合 問 題	推薦書に記載を 求める事項
草 津 東	全日制	体 育	陸 上 競 技	男女 7 名 以内	【推薦要件】 競技力の向上と本県のスポーツ振興を担う指導者等への道を目指し、意欲的に学習や指定競技の部活動（陸上競技部、水泳部、サッカー部（男子）、バスケットボール部（女子）、剣道部（男子・女子））に取り組み、本校の教育方針である「文武両道」を自ら実践しながら、現役で大学等の進路実現を志す者で、各指定競技において、競技を続ける強い意志と、以下にあげる大会に出場するなどの実績がある、または、それと同等の高い競技能力があると認められる者 （陸上競技） a 全国大会出場者 ・全国中学校体育大会 ・全国中学校駅伝大会 ・ジュニアオリンピック大会 ・国民体育大会 ・全国都道府県駅伝大会 b 近畿大会出場者 ・近畿中学校体育大会 ・近畿中学校駅伝競走大会 c 県大会 6 位以内入賞者 ・県中学校体育大会 ・通信陸上競技大会 ・県駅伝競走大会 d 競技能力に優れた者	○		○				・各指定競技に適した特筆すべき運動能力、競技成績・競技実績等 ・学習や生活に対する意欲・向上心・目的意識 （陸上競技） ・大会名、開催年、出場競技、種目、記録（タイム、順位など）を正確に記入
			水 泳	男女 3 名 以内	（水泳） a 全国大会出場者 ・全国中学校体育大会 ・国民体育大会 b 近畿大会出場者 ・近畿中学校体育大会（リレー種目を除く） c 県大会 8 位以内入賞者 ・県中学校体育大会（リレー種目を除く） d 競技能力に優れた者							（水泳） ・大会名、開催年、出場競技、種目、記録（タイム、順位など）を正確に記入 ・自己ベストタイム 2 種目（大会名、年度、種目、タイム）を記入
			サッカ ー	男子 7 名 以内	（サッカー） a 国際大会出場者、年代別日本代表選出者 b J F A アカデミー選出者、関西トレセン選出者、県トレセン選出者、プロリーグ下部組織所属 c 全国大会出場者 ・全国中学校体育大会 d 近畿大会出場者 ・近畿中学校体育大会 e 県大会上位進出チームに所属 ・県中学校体育大会ベスト 8 以上 ・県サッカー協会主催大会ベスト 1 6 以上 f 競技能力に優れた者							（サッカー） ・大会名、開催年、成績、ポジションを正確に記入 ・a、b については選出された年を記入
			バスケ ットボ ール	女子 3 名 以内	（バスケットボール） a 全国大会出場者 ・全国中学校体育大会 b 近畿大会出場者 ・近畿中学校体育大会 c 県大会上位進出チームに所属 ・県中学校体育大会ベスト 8 以上 ・県バスケットボール協会主催大会ベスト 1 6 以上 d D C 選手選出者 e 競技能力に優れた者							（バスケットボール） ・大会名、開催年、成績、ポジションを正確に記入 ・d については選出された年を記入
			剣 道	男子 3 名 以内	（剣道） a 全国大会出場者 ・全国中学校体育大会 ・全国道場少年剣道大会中学生の部 ・全国道場少年剣道選手権大会中学生の部 ・全国スポーツ少年団剣道交流大会 b 近畿大会出場者 ・近畿中学校体育大会 ・近畿ブロックスポーツ少年団剣道交流大会 c 県大会上位入賞者 ・県中学校体育大会団体・個人ベスト 8 以上 ・県中学校体育大会ブロック大会個人ベスト 4 以上 d 競技能力に優れた者							（剣道） ・大会名、開催年、成績等を正確に記入
			剣 道	女子 3 名 以内								

学 校 名	課 程	学 科	スポーツ・文化芸術推薦選抜									
			競 技 部 種 目	募 集 枠	推薦要件、および実技検査の概要	面 接	作 文	実 技 検 査	適 性 検 査	小 論 文	総 合 問 題	推薦書に記載を 求める事項
草 津 東	全日制	体 育			【実技検査等】 (陸上競技) 1 種目を選択する。 ○50m走 ○50mハードル ○1000m走 ○立三段とび ○メデシンボール投げ (水泳) 書類による泳力判定 (サッカー) コーンドリブルシュート パス&コントロール T-テスト (バスケットボール) オールコートドリブルシュート ジャンプシュート レーンアジリティードリル (剣道) 正面素振り 切り返し 基本打突 ※水泳を指定競技にする者は、自己ベストタイム2 種目の公式記録を証明する書類を推薦書に添付す ること。なお、添付する記録は長水路の個人種目 およびリレー第一泳者の記録とし、対象種目は自 由形 (50m、100m、200m、400m、1500m (女 子 800m))、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライ (100 m、200m)、個人メドレー (200m、400m) とす る。(推薦要件以外の大会で出した記録も可とす る) 添付書類 (日本水泳連盟HP公式リザルトをプリ ントアウトしたもの)							
栗 東	全日制	普 通	体 操	男女 4 名 以内	【推薦要件】 学習意欲が旺盛で、希望進路実現に向け勉学に励 み、スポーツ活動においてリーダーとしての活躍が 期待できる者で、それぞれの競技において次の要件 を満たす者 (体操) 体操競技において近畿大会や全国大会に出場経験をも つたか、それに相応する実力をもつ者で、入学後は 本校体操部で活動する強い意志をもつ者	○	○					・県大会以上の大会 (正式名称記載) における成績
			レスリ ング	男女 4 名 以内	(レスリング) レスリングや柔道などの経験があり、入学後は本校 レスリング部で活動する強い意志をもつ者							
			ソフト ボール	男子 4 名 以内	(ソフトボール) ソフトボールや野球などの経験があり、入学後は本 校ソフトボール部で活動する強い意志をもつ者							
			テニス	女子 4 名 以内	(テニス) テニスやソフトテニスなどの経験があり、入学後は 本校テニス部で活動する強い意志をもつ者 【実技検査】 競技に必要な基本的な運動能力や技術をみるための 検査 (体操) 倒立歩行、つり輪 (男子)、平均台マット (女子) (レスリング) 反復横とび、マット運動 (ソフトボール) 30m走、ティーバッティング (テニス) 反復横とび、サーブ							

学 校 名	課 程	学 科	スポーツ・文化芸術推薦選抜									
			競 技 部 門 種 目	募 集 枠	推薦要件、および実技検査の概要	面 接	作 文	実 技 検 査	適 性 検 査	小 論 文	総 合 問 題	推薦書に記載を 求める事項
水 口	全日制	普 通	ライフル射撃	男女 2名 以内	【推薦要件】 (ライフル射撃) 学習態度や基本的生活習慣がしっかり身についていて、次のいずれかの要件を満たす者 a スポーツ活動で優れた実績または優れた能力や適性を有し、入学後ライフル射撃部に所属し、3年間継続して積極的に活動する意志を有する者 b ライフル射撃の経験がある、あるいはライフル射撃への強い関心をもち、入学後ライフル射撃部に所属し、3年間継続して積極的に活動する意志を有する者	○		○				(ライフル射撃) ・特筆すべき運動能力、競技成績・競技実績または優れた能力・適性を示す事項
			ソフトボール	女子 5名 以内	(ソフトボール) 本校ソフトボール部の活動を3年間継続する意志と学習に対する意欲をもち、次のいずれかの要件を満たす者 a 県の選抜チームに選ばれて活動した者 b 中体連主催の県大会でベスト8以上の成績を収めたチームの正選手として出場した者、または、それと同等の能力を有すると考えられる者 c ソフトボールや野球の経験があり、入学後本校のソフトボール部で活動する強い意志をもつ者 【実技検査】 (ライフル射撃) ライフル射撃競技に必要な基本的技能・技術をみるための検査 ・軽度運動検査 ・ライフル射撃実射検査 (ソフトボール) ソフトボール競技に必要な基本的技能・技術をみるための検査 ・運動能力を測る検査 ・運動技術を測る検査							(ソフトボール) ・特筆すべき運動能力、競技成績・競技実績または優れた能力・適性を示す事項
野 洲	全日制	普 通	サッカー	男子 10名 以内	【推薦要件】 野洲高校を第一志望とし、3年間サッカー部の活動を継続する意志があり、下記の条件のいずれか、または複数を満たす者 a 県選抜チームや県トレセン及び地区トレセンに選ばれて活動をしていた者 b 中体連主催の大会で県ベスト8以上の成績を収めたチームの正選手として出場した者 c サッカー協会主催の大会で県ベスト16以上の成績を収めたチームの正選手として出場した者 【実技検査】 運動能力とサッカーの基本技術の測定	○		○				・個人として選抜された経歴やトレセンの経歴 ・チーム（校外を含む）としての成績（正選手であること） ・得意なポジション ・本校入学後のサッカー部活動に対する意欲
甲 西	全日制	普 通	ソフトテニス	女子 6名 以内	【推薦要件】 学習意欲が旺盛で、基本的生活習慣が身についており、入学後は本校ソフトテニス部に所属し3年間活動する強い意志をもつ者で、次のいずれかの要件を満たす者 a 全国大会出場者 b 近畿大会出場者 c 県大会上位入賞者（団体戦ベスト8、または個人戦ベスト32以上の成績を収めた者） 【実技検査】 ○ストローク ○サービス ○反復横とび	○		○				・大会名、開催年、成績等を正確に記載（団体戦については、団体戦登録者のうち試合に出場した大会に限る）

学 校 名	課 程	学 科	スポーツ・文化芸術推薦選抜									
			競 技 部 門 種 目	募 集 枠	推薦要件、および実技検査の概要	面 接	作 文	実 技 検 査	適 性 検 査	小 論 文	総 合 問 題	推薦書に記載を 求める事項
八日市南	全日制	農 業	カヌー	男女 3名 以内	【推薦要件】 本校志望の意志が強く、学習意欲が旺盛で時間やルール等がしっかり守れる者のうち、次のすべての要件を満たす者 a 県、市町やカヌー競技団体が主催するカヌー競技会に参加している者（参加予定の者を含む）、または県、市町やカヌー競技団体が主催する競技を目的としたカヌー教室等に参加した者（参加予定の者を含む）で、入学後も3年間カヌー部の活動を続ける意志があり、リーダーとして活躍することが期待できる者 b 動物、植物、食品および自然環境に興味・関心をもち、将来本校で学んだことを生かして社会に貢献することを望んでいる者 【実技検査】 運動能力を測る検査（シャトルラン、握力等）および競技力を測る検査（エルゴメーター、パドリングフォーム等）	○		○				・県、市町やカヌー競技団体が主催する競技を目的としたカヌー教室等に参加した証明や参加予定であったカヌー教室等の名称、カヌー競技の活動証明、顕著な競技実績
伊 吹	全日制	普 通	ホッケー	男子 5名 以内	【推薦要件】 本校志望の意志が強く、基本的な生活習慣が身につけており、入学後は意欲的に学習に取り組み、ホッケー部に所属し3年間活動する意志を持つ者で、次のいずれかの要件を満たす者。 a ホッケー競技U-16日本代表選出者 b ホッケー競技全国大会または同等以上の大会出場者 c ホッケー競技近畿大会等において上位の成績を収めた者 d 優れた運動能力や適性を持つ者で、入学後も活躍が期待できる者 【実技検査】 基礎的な体力、運動能力をおよびホッケーの基本技術を測る検査	○		○				・中学入学後の競技成績・競技実績等 ・学習や生活に対する意欲・向上心・目的意識
			ホッケー	女子 5名 以内								
日 野	全日制	総 合	レスリング	男女 5名 以内	【推薦要件】 本校志望の意志が強く、学習および部活動に取り組む意欲が旺盛で、次のすべての要件を満たす者 a 入学後はレスリング部に入学し、3年間活動する強い意志のある者 b 優れた運動能力・適性をもち、入学後は体育的活動のリーダーとして活躍できる者 【実技検査】 基本的な体力、運動能力を測定する検査 ・握力、背筋、上体起こし、反復横とび、立ち幅とび、マット運動（前転・開脚前転・後転・開脚後転・側転）	○		○				・運動部活動の競技名・活動内容・実績等、または学校外における体育的活動の競技名・活動内容・実績等、およびその活動における取組の様子

※総合問題は、当該校における特色選抜の総合問題と同じものとする。

※令和7年度入学者選抜においては、適性検査の実施はない。

参考資料

令和7年度滋賀県立高等学校入学者選抜要項冊子添付

令和7年度滋賀県立高等学校入学者選抜に係る出願書類作成および出願事務の手引きについて

修正前	修正後
[一般選抜出願関係] 2 中学校等で作成する書類について (1) 「個人調査報告書」(4号の1、4号の2)の記入について エ 出欠の記録 (ア) 欠席日数については、1年、2年および卒業(修了)者の3年については生徒指導要録から転記し、卒業(修了)見込者の3年については第2学期末までの欠席日数を記入すること。 (イ) 欠席の主な理由欄には、それぞれの学年において欠席日数が年間15日以上となる場合は、欠席の理由を必ず記入すること。ただし、それぞれの学年において欠席日数が年間30日以上となる場合は、欠席の主な理由欄には斜線を記入し、欠席の理由や中学校または家庭での学習状況等について説明した中学校長の副申書を添付すること。	[一般選抜出願関係] 2 中学校等で作成する書類について (1) 「個人調査報告書」(4号の1、4号の2)の記入について エ 出欠の記録 (ア) 欠席日数については、1年、2年および卒業(修了)者の3年については生徒指導要録から転記し、卒業(修了)見込者の3年については第2学期末までの欠席日数を記入すること。 (イ) 欠席の主な理由欄には、それぞれの学年において欠席日数が年間15日以上となる場合は、欠席の理由を必ず記入すること。ただし、それぞれの学年において欠席日数が年間30日以上となる場合は、欠席の主な理由欄には斜線を記入し、欠席の理由や中学校または家庭での学習状況等について説明した中学校長の副申書を添付すること。 出欠の記録については不要とし、欠席の理由等について説明した副申書の提出も不要とする。

修正前

4号の1 中→高 CD

令和7年度滋賀県立高等学校入学志願者 個人調査報告書

ふりがな		氏名		一覧表番号		令和6年3月卒業見込	
生年月日		平成 年 月 日		生		性別	

各教科の学習の記録									
観点別学習状況					評 定				
教科	観点	1年	2年	3年	1年	2年	3年	学年	選択教科
国語	1								評定
	2								
	3								
社会	1								
	2								
	3								
数学	1								
	2								
	3								
理科	1								
	2								
	3								
音楽	1								
	2								
	3								
美術	1								
	2								
	3								
保健体育	1								
	2								
	3								
技術	1								
	2								
	3								
家庭	1								
	2								
	3								
外国語	1								
	2								
	3								
必修教科の評定合計								記載者氏名	

出欠の記録			この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。	
学年	欠席日数	欠席の主な理由	令和7年	月 日
1年				
2年				
3年				

学校所在地
学校名
校長名
印

修正後

4号の1 中→高 CD

令和7年度滋賀県立高等学校入学志願者 個人調査報告書

ふりがな		氏名		一覧表番号		令和7年3月卒業見込	
生年月日		平成 年 月 日		生		性別	

各教科の学習の記録									
観点別学習状況					評 定				
教科	観点	1年	2年	3年	1年	2年	3年	学年	選択教科
国語	1								評定
	2								
	3								
社会	1								
	2								
	3								
数学	1								
	2								
	3								
理科	1								
	2								
	3								
音楽	1								
	2								
	3								
美術	1								
	2								
	3								
保健体育	1								
	2								
	3								
技術	1								
	2								
	3								
家庭	1								
	2								
	3								
外国語	1								
	2								
	3								
必修教科の評定合計								記載者氏名	

出欠の記録			この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。	
学年	欠席日数	欠席の主な理由	令和7年	月 日
1年				
2年				
3年				

学校所在地
学校名
校長名
印